無產階級闘戰雜誌

進め

無產階級は
無產候補に投票しろ

定價十錢

進め

本號一瞥

民衆の敵に一票も投ずる勿れ……卷頭言
朝鮮の同志に與ふる手紙……羽田光雄

同人時評
◆制限議會を即時解散せよ
◆統一戰線の問題と勞働組合
◆勞農露西亞政府の七時間制に就いて
◆在滿鮮人暴壓問題を論じて當局官憲に與ふ
◆選擧協定と投票日に就いて

總選擧に直面して全被抑壓民衆に檄す……

□勞働者の立場から……吉田源藏
□總選擧とサラリマンの立場……小川友三郎
□無産農民の威力を示せ……上杉定義
□無産婦人はかくして闘ふ……大木しづ
□普通選擧と植民地……赤尾蕃德

婦人及幼年勞働者の夜業禁止請願運動……神谷敏郎
三運動と日本勞農黨……淺沼稻次郎
全國婦人同盟は何故生れたか？……
如何に闘爭せんとするか……南條しづ子

全土戰報
在滿百万同胞を救へ……金光洋
朝鮮無產階級の狀況を見よ……李圭庚
漸く動く農村の空氣……佐藤泰郎
和歌山の戰線……富岡光
青年の進むべき道……水野貝三郎
不當檢束拘留處分……笠井忠雄
世の中は人間の生活だ……初田季太郎
白晝の公盜……水谷勝一
おどろ棒の執行員さん……勝木萬三
安茂里村々民に訴ふ……安茂里生

山梨新朝鮮總督の赴任ぶりを評す……布施辰治
總督政治の支配下に遂に擴大した沃溝小作爭議……金兇洋
講座 國際勞働運動（五）……淺野研眞
創作 勞働者の代表……吉田金重

月刊 一部二十錢

工場と鑛山

發行所
東京芝公園五の四日本勞働組合同盟本部

會計係より

本誌の讀者たらんとする諸君は左の規定を必ず實行して下さい。

一、見本請求は十錢切手を封入する事
二、用件は簡單明瞭に書く事時候見舞など必要なし
三、住所氏名を明瞭なるべく楷書で書く事
四、本社は集金郵便を用ひないから一切前金の事
五、誌代拂込みは振替にて送る事
六、住所移轉の通知には舊住所併記の事

【進め社の振替口座は 東京六九八五三番】

申込は整理の都合上本部會計係宛へ願ひます。

布施辰治主幹

月刊

法律戰線

◇階級闘爭の合法戰術！
◇惡法令の突破逆用！

一部十錢・半年六十錢・一ヶ年一圓廿錢

發行所 東京・高田町雑司ヶ谷一一五 振替東京第三六四五五番

淺野研眞主幹

社會科學日報

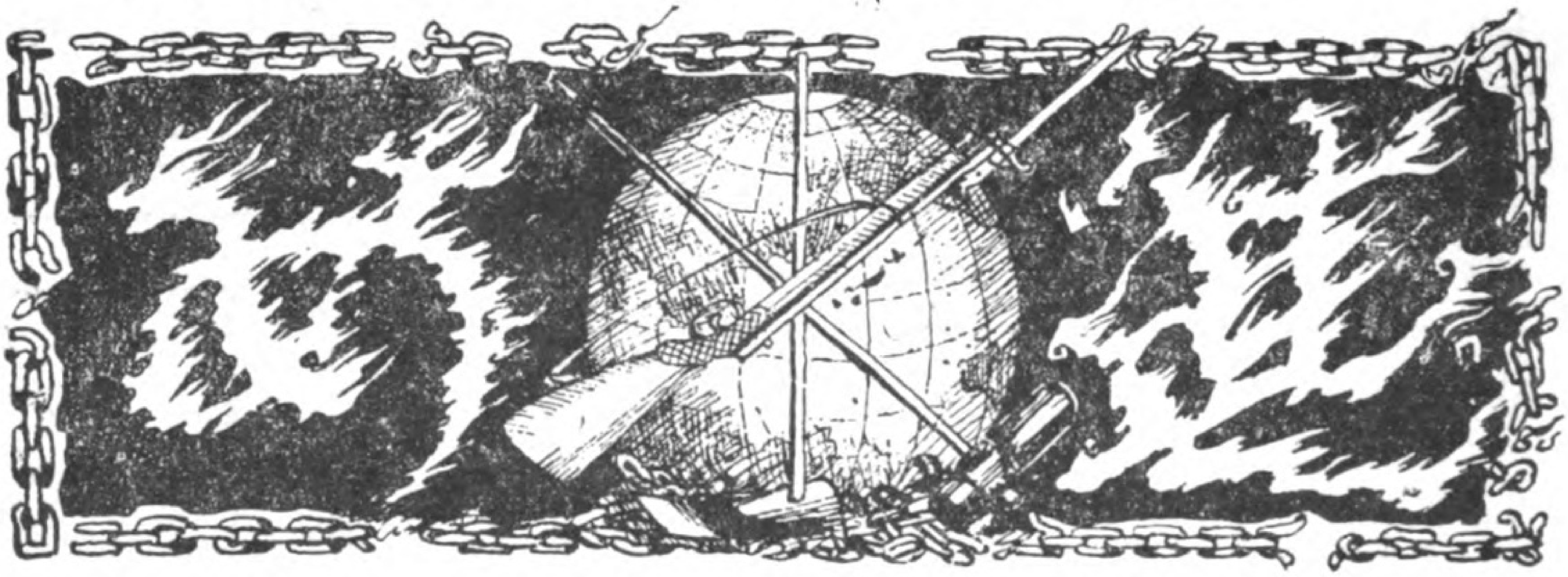
月刊

ソシウス

一部五錢

發行所 東京青山アパート七九號 ソシウス社 振替東京一三八九番

萬國の無産者團結せよ



第六年■戰鬪■進め■雜誌■第二號

民衆の敵に一票も與ふる勿れ

制限議會を解散しろ……民衆の反抗は遂に白熱化し、さしも醜惡なかけ引きと妥協の巣屈たる五十四議會は二十一日開會の冒頭直に解散するの餘儀なきに至らしめた。民衆の反抗はたゞ單に前議會に對してのみならず、あまねく現資本主義社會組織に對する反抗である。かくして普通選擧による第一回總選擧は、かゝる民衆のほうはいたる不平不滿反抗をかり集めて、金權政治のカラクリ人形を葬り無産階級の代表を議會に送らんとする階級的政治鬪爭の一大舞臺として展開する事とはなつた。

政友、民政の二大腐敗黨は、或ひは權力を濫用し、或ひは金力をもつて、歪みくねつて發生した普通選擧をして更に輪をかけてたたきこはさんと狂奔するであらう。かの昨秋の府縣議戰におけるあの生々しき干渉の歴史は何を物語る。普通選擧を意義あらしめるものは、最早やブルヂョア黨にはあらずして、徹底普選獲得の猛運動を大衆の强力な鬪爭にきたへあげつゝある無産政黨をおいて外には無い。政友、民政は一見相爭ふやに見える。しかし、彼等は、一度び對無産大衆の問題に逢着するや、直に反動的××を通謀する。されば、總選擧戰において無産政黨は幾多の困難迫害を突破しなければならない。しかし乍ら吾が無産階級は堂々と金權政治と相戰ふ機會に到達した。議會解散のその日、無産政黨は中央地方のそれを包含して第二回選擧協定協議會を開催し、ブルヂョア黨に對する共同戰線の陣容は、各黨の眞摯なる互讓の精神によつて成立し、議會解散の報至るや「總選擧に備へよ」の飛電は全國に及んだ。選擧協定による共同鬪爭は、必ずや、執拗に吾等の陣營に殘存する宗派的分裂主義、竝びに改良主義的イデオロギイを蹴飛ばして、無産戰線大合同へのマルクス主義の指導理論の正しさを實證するであらう。

いざ全國の無産大衆諸君。今はたゞひとへに支配階級の候補者を奈落の底に叩き落す時である。無産者候補のあるなしにかゝはらず、いやしくも無産階級のあるところ、必ず曝露鬪爭をまき起せ。諸君の知れる限りの無産者をして、無産者代表に投票せしめよ。諸君の手足を縛する搾取と迫害のつめたき鐵鎖を前にして、あゝ血みどろな切斷戰よ…

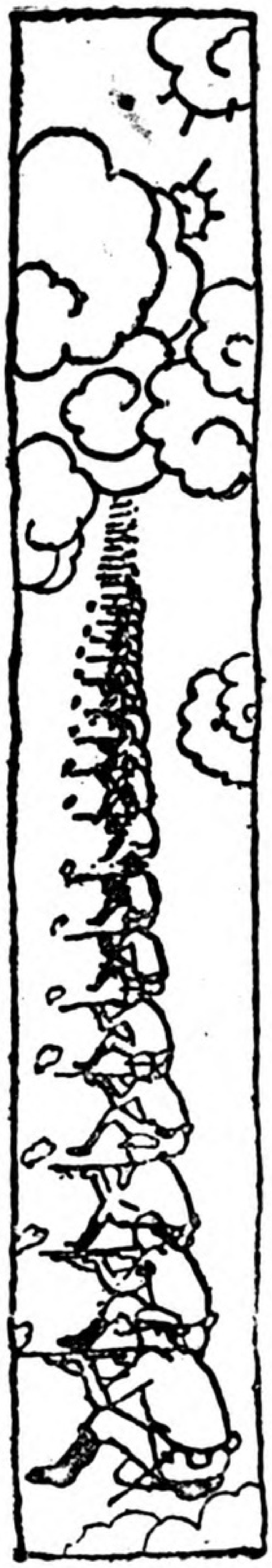
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同人時評

制限議會を即時解散せよ

制限選擧最後の議會は來る二十日の休會開け直後の田中反動王の施政演説によつて、其の幕は切り落されんとしてゐる、この第五十四議會は、民衆の利害を無視して十七億の豫算と九億の資本家救濟費を鵜呑みにし、全無產大衆の暴壓諸法令を通過せしめたところの第五十二、第五十三議會の延長し發展したものである。今や第五十四議會は關税の引上げと、公債濫發とを可決して我々民衆の血をすゝり肉を食ひ骨を削がうとする議會である。又出版法改正によつて我々の大衆的行動を蹂躙し、一方軍備費と警察費の增額をもつて我等の口を掩ひ、耳を塞がんとしてゐる。彼等既成政黨はこの最後の制限議會において、再び公然と我々民衆の前に高蹈亂舞を繰返さんとしつゝある。然しブルヂヨア政黨の過古において犯したる罪惡は今や一切の野黨をあげて猛烈なる質問戰を開かしめ「政府不信任案」を提唱せしめんとしてゐるが、同じ穴の狐たる野黨のこの攻勢も資本家の不利益を來さぬやう無產階級の目を蔽ふ表面的な戰ひに終る事は當然である。政友、民政兩黨の對立は單なる茶間事に過ぎず、自己の利益のためには、第五十二議會において議會史始まつて以來の醜狀を演じた馴合政治をする位は朝飯前の事である、專制政治は恐慌以來の財界の創痍と國家財政の破綻をひとへに民衆の負擔によつて治療せしめんとして豫算編成の規準を求めてゐる。ブルヂョア階級が若槻内閣にあきたらずして總選擧を前にして、最も彼等の意志を代表せる、反動田中軍閥内閣を代置せしめた。この重大なる使命を遂行すべく出現せる現政府が最後に與へられたる五十四議會を利用して死者の狂ひの亂舞を演ずるであらう事は豫想するに難くない。總選擧を前にして無產階級の緊急當面の問題は、既成政黨の亂舞を未前に防ぐ事でなくてはならぬ。今や無產大衆の憤慨は爆發して、無產政黨は勿論、各勞働組合、農民組合は云ふまでもなく、未組織大衆に至るまで猛烈なる議會解散請願運動は開始せられつゝある。我等はこの民衆の力を結合し、第五十四議會の解散を期し、普選によつて政界の腐敗、墮落を清掃しなくてはならぬ。

（一、一二、上杉定義）



統一戰線の問題と勞働組合

昨年末から本年にかけて、著るしく統一戰線の問題が展開した。

從來、この問題に就いては口をしつぱくして各理論家はその必要を叫んで來たのであるが、事實は、以前として對立し、その狀態が益々深められて行くが如き情勢にあつた。これは、大衆が、この問題に對してあまり意を留めなかつたからである。またそれをそれ迄に緊急なものとして、取入れなかつたからでもあらう。

それが、瓦然、左翼戰線内に福本和夫なる論客出現して或は右を切り、或は左を切り切つて切つて切り捲くつて、左翼の覇權を握り、從來の指導的位置にある山川均氏を放逐するに至つて、更にその暴威を振ひ、彼の鋭刀、理論鬪爭は、この地上唯一の權利なりと、自他共にこれを許容した。そしてその功績は、頂上期に逢着せる資本主義の内部を曝露して、左翼的任務を强唱した點である。これは、實に彼がもたらせる功績の優なるものである。然るに理論鬪爭の硬化は、客觀的情勢と主觀的情勢の混同を結末して、大衆的進展との隔離を實現するに至つた。そして、結果は、我が無產階級陣營にあつて、をの宗派を結成した、この狀態を、自ら誤謬なりと辯護して無產者新聞は次の如く言ふてゐる。

「大衆の自然發生的見解の排撃に急であつた爲に、大衆の政治的現實鬪爭の結果たる大衆黨の任務、役割、前衛黨の任務、役割とを混同し、大衆黨即ち前衛黨なりとする過失に陷つたことを

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

今日認めなければならぬ」「われ〳〵が當時未熟の段階において必然的に陷つた所の戰術上の硬化であつた」

また、これを駁擊する雜誌「勞農」は次の一文を以てこれに對抗してゐる。

「この根因を、コミンテルンの次の如き批判に見出すものである。曰く「今日まで×××指導部の根本的病根であり、根本的缺陷であつたもの――即ち宗派的精神」換言すれば「理論を誤謬に導いたところの宗派主義的感情」――これである」――斯くの如く、大衆との隔離を醸したる左翼指導者の誤りを、一は戰術上の誤謬なりとなし、一は根本的病根なりとして、理論の上には未だ一致點を發見し難くも、その實踐を誤謬なりと認定する點に於ては、兎も角も一致した。即ち「未熟の段階において必然に陷つた」その未熟の大衆的進展が、今や、成熟の大衆的進展となつて、指導者諸君に光明を投げつけたことは事實である。そして、大衆の實踐的伸張が、統一戰線の問題を提議せしめたのである。

されば、翻へつて、勞働組合の戰線統一問題をみやう――これは、前に、統一同盟が理論的にこの問題を發表しつゝあつたが、實踐の問題として具體化したのは、最近の事である。

本紙一月號時評に於て、私が、

「ヘンテコな產業平和論なんかを呼び物にする、總同盟幹部の態度と、社會の順當なる傾向とは、今後益々矛盾し發展するであらう。

また實踐的勞働大衆は、客觀的社會情勢の中に己れの進路を發見して、勇敢に突進するであらう。而して勞働組合の統一はこれ等の實踐的勞働大衆の鋭き慾求の中に實現せらるべきである」

として、野田醬油爭議を評し併せてかくの如き資本主義末期の爭議は、必然的に、實踐的勞働大衆の大同團結を實現するであらう、と暗示を與へたが、果して組合總聯合を初め各組合は一齊起つたこれを應援し、更に鬪爭組合會議はこの爭議の應援を決議して、更にこれを契機として、從來分離しつゝあつた勞働組合の大同團結を提議するに至つた。

この情勢は、資本家階級の反動的攻勢に對抗する順當なる必然なる傾向である。資本の情勢は、實踐的勞働大衆に向つて、大同團結を必然ならしめ、戰鬪的陣營の統一を必要ならしめてゐる。もし、この情勢に逆流せんとする組合幹部があるならば、それは、時代おくれの而も、勞働大衆を裏切る墮落幹部である。

時に起りつゝある勞働組合の大同團結と、その戰線の統一問題とは、本年初頭より急速度を以て實現せらるべきを信じて疑はぬ。

（三、一、十四、佐藤誠郎）

勞農露西亞政府の七時間制に就いて

一九二七年十月二十五日、レニングラードに開かれた、勞農社會主義共和國聯邦の中央執行委員會に於て、人民委員會議長リコフ氏の朗讀したる「勞働者に對する宣言」の中に次の一節がある。

「工場勞働者に關する限りに於ては、賃銀を低減することなして、勞働時間を一日八時間から七時間に縮することを、最近數年間に取り行ふであらう。中央執行委員會幹部會及び人民委員會會議は、機械設備更新、企業の合理化及び勞働[illegible]生產力の增加[illegible]に、或種の產業部門に此の七時間勞働制を導入する準備を此の一年間に行ふことを命ぜらる」

日本の資本家が、最近の經濟的大恐慌に際して、勞働時間の延長、[illegible]しきりに[illegible]勞働條件を提出してゐるに反して、いとも珍らしき現象なるかな、とブルジョア諸新聞は一齊に驚嘆してこれを賞讃した。そして、更に評して、

「七時間制の採用は、勞働者の餘暇時間を增し、社會的乃至教養的活動をなすことを得しめ、以て勞働者の物質的條件を改善するものであらう。又それは失業を緩和するであらう。政治的觀點からは、此の措置はロシヤの大衆に、外國の勞働者のソヴィエット政府に對する信賴と同情とを強めるであらうと期待される。七時間制の採用は、勞働者の生產力を減ぜずして、生產の改造及び技術の改善が之と同時に行はれるならば、却つて之を增加するであらう」

と、――資本主義的批評としては當を得たものである。が、而し、勞農露西亞の社會主義理想の點より觀察すれば、未だ半步も踏み入つたものではない。更に六時間、五時間、四時間と減少して行くものでなければならぬ、そこには商品制度的生產力の增大は眼中にない筈である。これに反して、資本主義者よりの觀點は、生產力の增大、生產費の低減、利益の伸張といふのみにある。この意味より勞農露西亞の七時間制採用を觀るなれば、その制度は、勞働に先づ、[illegible]ない、[illegible]者に對する[illegible]物に對する[illegible]して、織りなされてゐる。されば、勞農露西亞の[illegible]は、實に[illegible]としてケイペツするのは當然であるが、而し、これに反對することは、勞働者の反感を[illegible]に「却つて之れ（生產力）を增加するであらう」と泣言を言ひたてゝゐる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

最近、資本主義日本政府の善意の勞働政策として施行せられたものをあげれば「健康保險法の實施」「勞働爭議調停法」「勞働者の安全デー」等である、何れをみても誠に消極的なる言ひ譯的なものばかりである。反つて、むしろこれ等の諸政策は改良政策として勞働大衆の反感を買つてゐる仕末である、勞働者階級のため眞實に誠意ある積極的政策を實施し得ざるは、まことに當然すぎ[illegible]る[illegible]當然、資本主義國家の特質でなければならぬ。これに反して、從來とは言へ、吾れ質的なる政策を實施しやうとする、[illegible]制度は、特に無產階級的のものである。

今、資本主義政策の深刻に當面して、政府政策の中に明かなる本質を分析してそれを批判しなければならぬ必要を痛感する。

（一九二八、一、十五、S生）

在滿鮮人暴壓問題を論じて當局官憲に與ふ

天が下廣しと雖もよるに途なき無告の民ほど悲慘なるはない。然も此の悲慘なる境遇に置かれて如何とも成し得ない無告の民に同胞二千万の朝鮮人がある。洵に現在の朝鮮人は見ざる聞かざる言はざるの境涯を越えて、今や全く喰ふべからず住むべからず生きるべからずと云ふ暴壓迫害の下に置かれてゐる。殊に昨年十月頃から其の鋒鋩を現しかけてゐた東三省官憲の在滿鮮人彈壓の魔手は、日を重ね月の進むに從つて益々辛辣峻酷となり、今や在滿二百万の鮮人は「立退きか、餓死か」と云ふ死線に立ち、支那官憲の飽くなき暴令と高壓的な壓迫に其の天賦の生存權をさへ奪はれんとしてゐる。事態斯くの如く逼迫せる形勢にも拘はらず、日本當局官憲の無能は之れに對して××××××××××××、×××。×××當局官憲の無能は日本帝國主義の然らしむる所とするも、××××此れに依つて喚起せざるは

[illegible]ふ如く「滿洲に於ける朝鮮人壓迫問題は、一部に支那官憲のやつてゐる樣に傳へられて居るが、左樣な事は無いと信じて居る』。と云ふ此の言葉が事實であるならば實にそれは日本帝國主義官憲の仕業である。と云ふ事を彼等自ら白狀

[illegible]く措き、清朝になつても朝鮮の間に中立地帶を設け、朝鮮人が境を越へて中立地帶を開墾し、之れが爲め後年間島の所屬につき問題を惹起し遂に

[illegible]

一、[illegible]

二、[illegible]

三、[illegible]

尙ほ彼等は[illegible]

一、[illegible]

二、[illegible]

二、大同團結する自立の爲め[illegible]して悲壯なる決心を固め無告の民の生き

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

る途を講じてゐる。一方在滿朝鮮人問題及び朝鮮在住支那問題に關する朝鮮總督府當局と、張作霖の代理松井少將との交渉は滿足なる結果を見ず事實上決裂に至つたものゝ如くである。即ち本年々頭元帥府顧問松井少將は京城に山梨新總督を訪ひ協商の歸途、奉天に楊宇霆と打合せを爲した結果大體に於いて

一、治外法權撤廢問題
二、土地所有權問題
三、朝鮮人歸化問題
四、赤露の赤化防止問題
五、不逞鮮人取締問題

等の五項目に就き協議する事となつたが、治外法權問題では支那側に難關あり、歸化問題では、日本側に快くない點が存する等の爲め、從つて此の問題に就いて日支特殊協定の成立は頗る困難と見られるのみか、今後更に紛糾を來し益々憂慮すべき事態に立ち至るものゝ如くである。

支那官憲の朝鮮人壓迫は今日に始まつた問題ではない。吾等は旣に大正十一年及び十四年の二回に亘つて可なり惡性の朝鮮人彈壓を經驗した。其他の小波紋に至つては枚擧に遑なき程である。然るに此の様に繰り返される重大問題に對して何故日本當局官憲は之れが根本的解決を致さないのであらうか。今や死地に陷れる在滿鮮人救濟問題に就いて日本當局官憲は果して如何なる方策を有してゐるであらうか。吾等の切に問かんと欲する所である。

朝鮮統治の問題は頭腦の涸渴せる[illegible]官僚輩の、[illegible]に考ふるより遙か以上に内地延長主義か自治主義かは、いまだに決せぬ問題にしても少くも、アイルランド及びスコットランドの民族が、英國の立法に參加する程度に於いて、朝鮮の大衆を我が議會に參加せしむべき時機ではないか。統治上の改革はもとより[illegible]を必要とするにしても、併合の趣旨が[illegible]として一視同仁に存する以上、朝鮮人の參政權授與は當然の結論であり、今は其の第一步に進むべき時機が熟してゐるのではないか。是れを行政上に於いても亦同樣の考慮が要求されるのである。即ち自治制度の進展を擴充し、公選の自治機關を增設し、當局の自治[illegible]を進め、一般に朝鮮人の官吏登用を盛んにし、以て朝鮮人をしてより多く其の志を遂げしむべきではないか。吾人は文化政策の效果として何よりも教育の普及を認むるのであるが、同時に吾人は知識階級の職[illegible]の問題が漸く朝鮮における重要[illegible]化しつゝある事を見逃し得ない。此の意味からも總督政治の上下を通じ、殊に文化的機關の方面に於いて朝鮮人の活動し得る範圍を擴からしむることは急務の一つである。

[illegible]支那官憲の如きも、[illegible]を等しく總督政治の問題として考慮すべきものがあるのである。之れを要するに、今次の朝鮮人の壓迫問題は、日本帝國主義の一形態として、政治的動機に端を發し、經濟的原因に相まつて官憲の無能裡に全滿に及び[illegible]擴大し遂に今日の如く[illegible]したのである。[illegible]ものである。[illegible]は收拾すべからざる事態に至るものと覺悟せねばならぬ。

（一、一五、日常生）

選擧協定と投票日に就いて

昨日の協議會において[illegible]

[illegible]選擧[illegible]は出來ぬにしても、[illegible]いふ誠意がある以上、多少の困難は克服せしめられるであらう。殊に、總[illegible]の渦中[illegible]既に吾々をまき込んだ以上、

以外にこうした困難を早く片附けるではなからうかと思はれる。[illegible]いであらう。[illegible]たが、その[illegible]ないといふ人が[illegible]な場合が多いであらう。[illegible]

[illegible]れた地方民衆をして[illegible]受入れし[illegible]それは、それとして、[illegible]るであらう。[illegible]ブルヂヨア[illegible]

[illegible]である。（十五頁三段へ續く）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

朝鮮の同志に與ふる手紙

特に合同問題を中心として

羽田光雄

「吾等にパンと自由を與へよ」この止むに止まれぬ要望は、日本の僻村僻地いやしくも貧乏と無産階級のあるところ必ず血みどろな闘爭に迄高められてゐます。

親愛なる朝鮮の同志諸君諸君の上と日夜を問はずおし重なる窮乏と迫害とは、世に資本主義の支配がある限り執拗につきまとふ運命でせう。しかし、吾々の上に課せられたる運命は、この運命の決定權を握つてゐる資本主義的社會組織を粉碎する事によつて、吾々は目下の運命を木つ葉微塵に覆へし得られるのです。

私は朝鮮の同志諸君が常に支配階級の×××に屈せず突破して戰はれつゝある事を日本の無産階級の一人として心からなる敬意を表せずにはゐられません。亦、朝鮮の同志諸君が吾々日本の無産階級を常に信頼し、決死的應援をなされつゝある事に對して感謝いたさずにはゐられないのであります。相共に横暴な資本家の搾取迫害に抗して戰ひは進められてゐます。私は、勞農黨大會の時、傍聽席の一隅から、熱狂的に拍手を送られてゐる若い女性を見て、何とはなしに悲痛な熱涙を覺えた程でありました。

『日本無産階級の解放なくして、朝鮮民族の解放は無い。朝鮮民族の解放なくして日本無産階級の解放は無いのだ』

朝鮮の同志はかく叫んでゐました。朝鮮民族の上に課せられた、あの×の様な暴虐事件、拷問事件、少くとも正義の血に燃ゆるもの、何人をも奮起せしめずにはをかないであらう。私達、日本の無産階級はかゝる支配階級の行動に對して、常に抗議し戰ひその不當を責めて來ました。しかし乍ら、日本の無産階級は過去において、又現在において、大衆自らの僞らざる意識を、大衆的運動の組織の上にまで表はす事が出來たでせうか。私はそれに對して疑問なきを得ません。日本の無産階級がかくして朝鮮の問題を强力な大衆運動にまで高める事が出來なかつたのは、日本無産者のそれに對する無關心ではなく否常に反抗に燃えてゐたそれにもかゝはらず、それを統一ある强力な行動に迄進める事の出來なかつたのを、朝鮮の同志諸君に對して慚愧の念に堪えないと同時に、私達は過去をかくあらしめた障害を突破し取除くべき責任を有してゐるのである。然り、私達は日本の無産階級の陣營において常に分裂を策動した宗派的精神を克服し無産階級戰線の統一を企圖しなければなりません。かくしてのみ、强力なる支配階級の攻勢を粉碎し、對抗し得られるでせう。

私は過日朝鮮の一同志の語られた言葉に打たれずにはゐられませんでした。

「朝鮮の問題迄が日本の無産運動の分裂の捲き添えを食つちやたまらない。」この言葉は短くはあれ、日本の現狀に對する痛切な不滿であり、熱火の如き警鐘でありました。

亦一人の同志は語られました。

「私は朝鮮民族として日本の無産戰線の統一を望んでゐる又その爲めにあらゆる努力を拂ひたい。」と。

これ等の同志の聲をどうして私は無關心で聞いてゐられたでせうか。少くとも日本の無産階級の一人として亦、支配階級の×××××××を殊に朝鮮民族の上に加重しつゝあるそれを、日常の生活において、いやといふ程見せつけられてゐる私達にとつては、こうした言葉に接する毎に、無産政黨の統一の必要を愈々深く考へさせずにはゐられませんでした。

「朝鮮の運動に今分裂が無いのは、日本の歩み路が最も鋭き教訓になつたからだ。」と私の最も尊敬する朝鮮の一同志は云ひました。私達日本の無産階級は今や教育した者に教育さるゝべき時機に到達してゐると思ひます。現在、在京の鮮人諸君は大抵勞働農民黨系の人が多い様であります。しかし、この朝鮮の同志諸君は、自らの所屬する勞農黨が、日勞その他の無産黨をブルヂョア政黨それ以上に中傷ザンブしてゐた時においても、決して、日勞黨の惡口を云はれた事をきいた事はありません。同志の叫びは、鐵の様な統一、支配階級の奸策を擊破する戰線の統一の熱望でありました。

親愛なる朝鮮の同志諸君。

私は今喜びと自信をもつて日本の全土に渉つて統一の叫びのぼうはいとして捲き起され、分裂主義は今大衆の力をもつて排除されんとしつゝある事を御傳へするのを非常に光榮と思ふものであります。

昨秋九月全國一齊に施行された府縣會議員選擧において、分裂闘爭によつて最もにがい經驗を嘗めた無産階級の間に次第に高まり來たつた合同の要望は、ブルヂョア政黨よりも先づ「ニセ無産黨に比して吾が勞農黨の輝ける勝利」と叫んだ分裂主義的幹部

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

をはね飛ばして了ひました。勞農黨の幹部の所謂「ニセ無產黨」とは、勞働者、農民を抱擁する日勞黨その他に向つて云つた言葉です。府縣議會における努力の結果は收穫は彼等にあつては、吾々の正面の敵に向つてより吾々の陣營內への罵倒の道具として誇られたのであります。しかし、こうした分裂主義的傾向を、大衆が承知しなかつたからこそ、勞農黨の方向轉換が昨年の十一月中旬から急速に行はれたのであります。支配階級の狂暴化からくることの大衆の要望と、これにあだかも石油をそゝぐが如く、朝鮮の地續き、……それは側へ鴨綠江の國境があり、帝國主義の××があつても……北に延々と擴がる勞働者農民の國に根據を有し世界の被壓迫大衆に叫びかけてゐる第三インタナショナルの提起經驗と努力の上に積れた日本の運動に對する批判の發表、及び、たとへばマルクス主義の立場から、戰線の統一をその立黨の精神としておる日本勞農黨の陣容の整理化、積極的働きかけによるものであり、又最後の制限議會五十四議會解散は最早や論議の餘地なき迄當然の事と

された險惡な空氣がそれを、著しく速進したのであると思ひます。

コミンテルンは如何に日本の運動を批判したでありませうか。吾が同志諸君はすでに御覽の事と存じます。と、同時に諸君は勞農黨が故意にそれを隱蔽しようとする態度に氣附かれたでありませう。それは何故だつたか。コミンテルンは、福本イストの「統一の前の分離」の行動を目して宗派的分裂主義者であると評し、勞農黨に對する痛烈な戒飭であつたからです。然るに勞農黨の幹部諸君はこれを避けよう避けようとする消極的な態度を見せ乍ら、實際において、そのテーゼの含む正當な批判を受入れ、急轉直下式に方向轉換を爲したのであります。十一月十三日無產者新聞の無產政黨合同協議會開催の提唱に應じて、勞農黨はにはかに合同論に迄歩寄りをして了ひました。之の態度は何人をしても驚嘆せしめました。大衆の間に接觸してゐる人には、勞農黨の態度の急變は當に必然の事であつたと信じたいのであります。かくして無產政黨合同の氣運が次第に高まり、昨年十一月末の日勞黨

大會を眞先に次ぎ次ぎに開かれた無產黨大會において、合同問題は最も熱烈に論議されました。日勞黨大會は滿場一致を以て、福本イズムの排除を單一絕對條件として合同に猛進する事を可決しました。私はこの日勞黨の方針が最も必要にして妥當なるものである事を信じました。或る人々は、折角の勞農黨の方向轉換實踐における自己精算を、單一絕對條件は阻害するではないかと云ひました。こうした解は日勞、勞農の中間にある山川一派の折衷主義者からもち出された無條件合同こそ可能であると云ふのでありました。彼等は、と云ひ乍ら、一方において宗派的精神を克服するとして盛んなる論戰を開始しつゝあります。この事は勞農黨に宗派的分裂主義が未だ執擲に殘つてゐる事を照明してゐます。理論の上から即時合同の聲は可能であるが、實際大衆運動の上において宗派的分裂主義を克服しない間合同を試みては、合同の實現促進はおろか反つて合同實現の妨害となり、派閥となります。過去の勞農黨の共同鬪爭が常に組合の破壞、攪亂であつた事實に微しても、亦、念

速度に方向轉換した理由が明確で無い事、彼等に云はせれば一に支配階級の狂暴化、大衆の缺乏を理由としてゐるけれども、そうした客觀的情勢は今に始まつた事ではないのであるし、宗派的精神は今尙強く殘つてゐる事、等々によつても私達は、先づ合同を正しく導く爲めに福本イズムの排除を決定したのである。

親愛なる朝鮮の同志諸君、日本の無產戰線の分裂を合理であると叫んで來た福本イズムの眞の自己精算を吾々は望んでゐたのであります。朝鮮民族問題への支配階級の共同抗議を常に攪亂したのは彼等福本イストであつたのです。しかし、私達は日本の階級はこうした紛碎される事が速かに宗派的精神を克服する事を通じて克服する事を同時に望んでゐます。の對照物消滅すると同時には亦消滅するのであります。單一絕對條件は合同の爲めに必要にして缺くべからざる條件であります。そして、これが一日も早く粉碎される事が吾々に取つて最も必要なる事であります。

私は朝鮮の同志諸君が單一絕對條件を正當に批判されん事を切望してゐる。「宗派的分裂主義を倒せ」の聲は今や到るところの戰場においても、大衆の口からほとばしり出づる叫びであります。私達はこのスローガンは極左小兒病者の強い覺醒と、分裂は駄目だと云ふ者の頭に信念をいやといふ程民衆の頭に叩きこむ爲めに合同の必要を叫び改良主義的指導精神の中にこんと民衆と眞に民衆の先頭に立つて戰ふものはマルクス主義以外にあり得ないといふ事を之亦いやといふ程植えつけるものだ。

大衆黨は民衆の現實の要求を以つて、組織されたものである以上、さればその合同は相等しい、さればその合同は必要とし、可能であります、然らばその合同は、決して改良主義、日和見主義、マルキシズムの指導理論の妥協的融合ではありません。亦あつてはならないのです。無產黨を導くものは、マルキシズム以外にはないと信じます。大衆に近づけ……これこそは大なる歷史を有する日本の×××に對する苦鬪であ

る」とはコミンテルンの批判であります。大衆の現實の要求を眞のマルクス主義の立場より指導する事が前衞の任務であり、是あつてこそ、大衆の運動は進撃すると思ひます。

ある人は云ひました。「大衆黨と前衞とは二つの指導精神が必要ではないか。」と。しかし、私はこうした問ひは誤謬であると思ひます。勿論、前衞はマルキシズムを獲得したプロレタリヤであり、大衆黨は現實の要求をもつて結成されたものであります。

前衞は明かにマルクス主義の見透しをもつてゐるとは云へ、現實當面してゐる問題は大衆黨と同じいと思ひます。との場合、この現實の問題を前衞の立場より見て指導する事以外、この問題を解決し得る事は出來ないのであります。亦、かくしてのみ前衞の任務は果されると信じます。マルクス主義がたゞ單に前衞のみのものでこれ以外に力がないならば、マルクス主義の現實性はあり得ないのです。眞に廣汎な大衆の不平不滿を解決し、指導し、意識水準を高めてこそ、マルクス主義の眞理があり、眞に無産階級の科學であると云ひ得られるでせう。マルクス主義は遠い所には無い。大衆の中に最も鋭き尖鋒を表はしてゐるのであります。

コミンテルンが正當に指摘した如く日本は世界における第一流の帝國主義的強國である。然し、アメリカと異るところは極めて強力なる封建的殘存物がある。こうした日本の客觀的狀勢はブルヂヨア民主主義獲得運動を日本の無産階級に課するものであります。

ブルヂヨア、デモクラシイは、普遍的な歴史的立場よりすればブルヂヨアに課せられた任務でありました。しかし、日本のブルヂヨアジイは、日本資本主義發達の特殊性よりして、その任務を果さゞる中に反つて封建勢力と妥協し、民衆の自由を奪はんとしてゐるのです。こうした事情は、日本の無産階級及び、朝鮮の民衆諸君のすでに觀取せられたものであります。しかし、私達は今ブルヂヨア、デモクラシイの要求を當面の鬪爭目標としてゐるとは云へ、それはひとへにマルクス主義によつて指導されてゐるのであります。もしそうでなかつたなら、この運動の歴史的意義はありません。何故なら、私達がマルクス主義の立場よりしてこの要求運動を爲してゐるからこそ、ブルヂヨアデモクラシイ獲得は必然一般にプロレタリヤ、デモクラシイの前提條件となり得ると確信するものであります。私達は、プロレタリヤ、デモクラシイの確立の爲めにこそ、ブルヂヨア民主主義の獲得は要求してゐるのです。

コミンテルンは「ブルヂヨア民主主義××の客觀的前提はやがてプロレタリヤ××への迅かなる進展の前提となるであらう」と云つてゐます。しかし乍ら、吾々の現在課せられたブルヂヨア、デモクラシイは、過去においてブルヂヨア自身が稱へたものとは異るものであります。それは、客觀的狀勢の變化と、マルクス主義の立場より指導されてゐるからであります。

朝鮮の親愛なる同志諸君

政治的自由獲得こそ、朝鮮の兄弟達の痛烈な叫びであると信じます。すでにして、朝鮮の同志諸君は横暴なる天下り總督政治に反抗して、かの狂暴なる支配階級の爲めに迫害されてゐるのであります。

「あゝ自由の新社會よ……」。

かく朝鮮の同志は手紙の終りを結んでゐました。私は日本の無産階級の一人として熱涙を催す事をどうしてもとゞめる事が出來ませんでした。しかし乍ら、私達は階級戰の只中にあります。東半球に夜が明けて、吾々を搾取する者が、酒池肉林に醉ひ知れて眠つてゐても、吾々無産階級に安逸の夜はありません。貧乏に明け貧乏に暮るゝ、××に明けて、××に暮るゝ、あゝ自由の新社會よ。

親愛なる朝鮮の同志諸君。

私達は合同へ合同への熱揚にして果敢なる鬪爭へと進出してゐます。全日本農民組合と全日本農民組合同盟、中部農民組合と日本農民總同盟との合同統一同盟の政黨の如何に關せず勞働組合の統一を企鬪、日本勞農黨の提唱による選擧協定協議會の開催等に、統一の戰線展開しつゝあります。私達は朝鮮の同志が、この合同を如何に勇んで、迎へてくれるかを信じてゐます。そして、絶えざる應援を御願ひする。支配階級との正面衝突は、やがて總選擧戰を舞臺として展開せんとしてゐます。制限議會五十四議會を解散しろ私達は叫び續けてゐます。解散は目睫の間に迫つてゐます。私達は、いやしくも貧乏と無産階級のあるところ、支配階級の奸策を撃破して戰ひます。朝鮮には選擧權が無い。

「朝鮮の大衆に選擧權を與へろ」

「すべての人民に食と自由を與へよ」

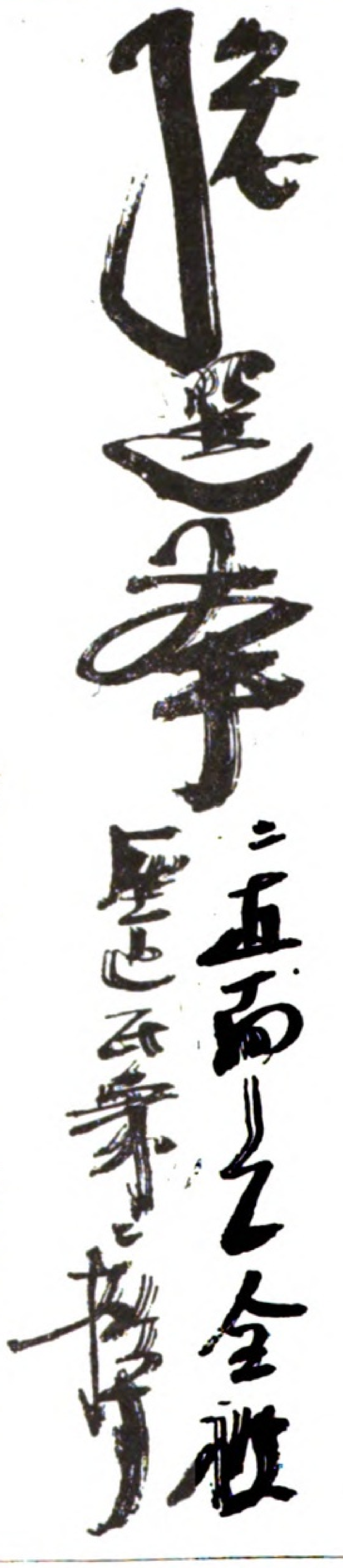
さらば吾が親愛なる朝鮮の同志諸君よ。（二十日）

（二十五頁より續く）

農民の共同は階級的協同戰線たり得る」と言ふてゐる。

この二つの解釋は、松村氏はマルクス主義を既に述べた如く、觀念的に祭りあげてある、故に、階級鬪爭の實踐を忘れ、高杉氏は、『左翼の恐怖的な活動」といふ名目に依つて、一層ボカシてゐる。この兩者の解釋は、共にインテリゲンチヤ的臭氣の粉々たるものであり、却てそれを蔽ろが如き態度であつて、見苦しいものである。松村氏の言ふ「各階級の反抗」は各階級の客觀的情勢に感じて激發するところの必然的産物であり、前衞は、それを組織し、統制し、更に激發せしめる任務を課せられたるものである。（終）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



勞働者の立場から

吉田源藏

政治家はよく國家と云ふ事を喧しく云ふ、そして彼等は國家を治める爲めに政治を行ふのである。彼等は政治を行ふから政治家と云ふのである。政治とは階級間の力の關係に外ならない、曾つて原敬は、「政治は力なり」と云つた。それは即ち「支配する」事を意味するのである。である限り政治とは、個人々々の力ではない事が分る、それは同じ立場に立つところのものゝみの力の結合である。此の力が守つている國家――即ち政治を行つて治めてゐる國家――とは、此の政治と云ふ所謂力を持つてゐるものゝみの國家である。

此の理窟は吾々の現在の日常の生活關係に見れば直ぐ分る、日本の政治家は國家の爲めだとて、健康保險法と云ふ法律を拵へた――所謂政治と云ふ力で――そしてこれを施行した。元來此の法律は、吾々勞働者を保護すると云ふ目的で立法――法律を制定することを立法と云ふ――せられた……又そうせられなければならぬものであるのだ……ものである。それだのに、その結果はどうであつたか、京都地方の勞働者は、此の法律が出來る迄は、補助金――まさかの時に役立てる爲めの金――と云ふて、平均十一錢に當る金を日給以外に資本家から貰つてゐた。ところが此の法律が出來てから、資本家は勞働者が、まさかのときには醫者にも診て貰へるし、手當も貰へると云ふので、その十一錢程の補助金を出さなくなつた。そして保險料を資本家と勞働者は各々平均――京都府地方のものゝみ――八錢宛拂ふ事になつた。結局資本家は三錢儲け、勞働者は十九錢損をする事になつた。それだと言つて保險醫なんかに診て貰ふのは、反つて以前より規則だ、何だかだとて、七面倒臭くて何の足しにもならないのである。手當を貰ふにしても其の通りである。

彼等は工場法と云ふ國家の爲めに吾々勞働者を保護する法律を拵へた、けれども、二週間位の豫告期間や、それに相當する手當で馘つてよい事になつて居り、片輪者になつても日給の百日分か七十日分位の手當で放りなげてよいことになつている。これに不服を唱へて、ストライキでも行らうものなら、檢束だ、拘留だとて、まかり間違つたら監獄へ打ち込まれるのだ。

彼等は國家の爲めだ、復興だと二億圓だ、五億圓だ、七億圓だと云ふ大金を、今が今迄儲け放題儲けて來た金持達に、民衆の輕い財布から捲き上げて迄呉れて行つたではないか。

普通選擧法を制定したとて、二百圓だ、二千圓だとて、吾々勞働者には少しも見へない大金がなければ、議員一人出す事が出來ないではないか。言論、集會、結社の自由が保證せられているとは云ふが、演說を行れば中止を喰い、出版すれば發禁に會ひ、發行すれば停止され、示威運動をすれば檢束され拘留され、結社を組織すれば解散される。實に吾々の有する自由とは、一切萬事の自由を引き去つた自由、即ち何もない自由である。何もない自由とは零を意味する。零は何百何千竝べてもやはり零である。吾々の有する零の自由には、ブルジョアジーの何萬何千の保證と云ふ數字を乘じてもやはり零である。

然らば吾々勞働者は空つ手であらうか、冗談ではない、吾々はハンマーを持つてゐる。吾々は斧を持つてゐる。吾々はハンドルを持つてゐる吾々は鍬を持つてゐる。吾々は鋤を持つてゐる、鎚を持つている。そして吾々の持つてゐるこれこそ、これの働きこそ社會を支持し、國家を治めるものなのである。それにもかゝはらず、吾々が何ものも持たないのは此の吾々の持つてゐる道具、此の道具の働きの成果が、彼等ブルジョアジーの力――即ち政治――に依つて捲き上げられているからである。吾々の自由が零であるのは此の理由に基くのである。

そこで吾々は、零である自由を取り返すには、吾々の力――即ち政治――を以てせなければならぬ。吾々は吾々の力、政治權力を持たねばならぬ、吾々の權力を持つた社會即ち吾々の國家――吾々の力のみで支配する國家とせなければならない。それは吾々勞働者が、總て政治家になるこ

とである。現在の社會は、自由を奪はれてゐるものと、之れを奪つてゐるものとの二つの階級から成り立つてゐるので、總ての人達は皆之のいづれかに屬すべきものなのである。斷じて中立等と云ふものはないのである。若し中立だ等と云ふ奴があれば、其奴は吾々の自由を奪つてゐる階級か、但しはそれの手先きだ。

無産階級の國家は、無産階級の支配權なくしてはあり得ない、イギリスの勞働者は、國家内に於いて一國家を爲してゐると言はれてゐる、ロシアは無産階級のみの國家である。

彼等は無産階級の政黨——無産階級と云ふ同じ階級的立場に立つものゝみの力を結合させた黨——を持つてゐる。彼等は此の黨に依つてのみ、此の黨の力に依つてのみ、自己を守り、敵を粉碎してゐる。吾々は無産政黨を他所にして吾々を守るもの、吾々の敵を驅逐するものはない。吾々無産階級は社會の勞働者、吾々無産階級は社會の土臺石である、だから吾々こそ實に國家の政治を行ふものであらねばならぬ、即ち吾々は擧つて政治家であらねばならない。吾々が擧つて政治家となり、吾々の眞の自由な國家を建設するには、無産階級の政黨にのみ依つて爲される。

總選擧は目前に迫つてゐる、吾々勞働者、吾々無産階級は、眞に吾々を守り、眞に吾々の敵を驅逐する黨の力を以て闘はねばならぬ。

從來屢々繰り返された總選擧は、支配するものゝみの間に於ける誰が其の事務をとるかの爭ひで、彼等の内輪喧嘩に過ぎなかつたのである。だから吾々は、政友會が勝たうが民政黨が之に代はらうが、依然として吾々の自由は零であるのだ。蛇の天下であつても、蛙の世になつても、蛙の身邊は依然として危險である、蛙は蛙のみの天下にならねば生きる自由はない。

今度の總選擧は從來の總選擧とは非常に違ふ。支配してゐるものと、支配されているものとの正面衝突だ。吾々は此の戰ひに勝たねばならない、吾々は其の爲めには無産政黨の下に吾々の力を結合せねばならぬ。

日本の勞働階級は、吾々無産階級を守る無産階級の政黨「日本勞農黨」の旗の下に集まれ。ヘンマを振る力、鎌を持つ手、働く鍬を取る手、把手を握る其の力を、單一な、大きな強い太いものにしろ。

——一九二八、一、八——

總選擧とサラリマンの立場

小川友三郎

五十四議會は解散さる

愈々總選擧は吾れ等の目前に迫つて來た。

一九二八年は實に有意義なる時代的新時代へと進轉して來た、舊三百万有權者より一躍一千三百万有權者へと——。未だ不備ながら普選は我が國に於いて初の實施と云ふ時代となつた。

曰く見よ普選の曉は來り民衆の太陽は彼方東天に燦然として輝いてゐるではないか。

そこで此の新時代の民衆は全無産階級は如何なる役割と如何なる使命に生きなければならないか。

未だ未組織大衆ではあるけれども吾等俸給生活者も無産階級の一面層であるが故に、俸給生活者も一役割と一使命を持して此の劃時代を有意義に進まねばならないのである。

一九二七年の春の金融恐慌銀行閉鎖モラトリアム、會社整理合併によつて國内の不景氣は其の極に達し、民衆の生活は極度に脅威され、全民衆の中からは生活權擁護の叫びが社會の隅ずみまでも、ことに俸給生活者の中に多く見受けられて來た。

これこそ全俸給生活者即ち銀行員と云はず、會社員や店員、記者に到るまで全俸給生活者を如何に窮乏のどん底に追込んだことか！、そこで一面におけるこの疲弊廢頽と一面には不滿と反抗とが具體化して隨處に湧き起つてゐるではないか。

全國に捲起つてゐる俸給生活者の爭議はこれであるのだ。

讀者よ——嗤つて呉れ、我れ等の態度を。ブルジュアの手先で、朝早くから腰弁さげて監獄のやうなビルディングの中で、自由はうばわれ壓迫と束縛の中で、安くもない頭をヘイヘイさげて一生懸命ブルの爲に盡してやつておどかされ、あまつさへ多くもない月給はしぼられ、首はいつ飛ぶかわからない哀れなる者が月給取と云ふ、カゴの鳥だ、諸君嗤ふな、之も被搾取階級である被壓迫民衆である——無産階級である——。

この俸給生活者も無産階級の一面層であるのだ。

俸給生活者も無産階級の一分野であるが故に、無産階級解放の一役割をはたさなければならないと思ふのである。

俸給生活者は日常の不安なる生活より進んで、生活權の擁護の爲にはどうしても政治的闘爭へ進出しなければならない。そこで俸給生活者は先づ、

居住權の確立、壓迫から解放へ、

搾取から非搾取へ——と無産階級解放運動の政治戰線の一翼として一大任務をはたさなければならないのだ。全無産階級の叫びは、政治的自由の獲得へと進轉してゐる。

經濟闘爭より政治闘爭へと。

此の時に於てサラリマンも此の段階に於て白熱的に來るべき總選擧に向つて全國的戰

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

線を張らなければならないと信ずるのである。

第一に味方とする者は勞働者と農民である、即ち無産政黨である"

これを支持して居住權の確立、徹底普選の獲得、生活權擁護、既成政黨の彈劾へと合流して一路邁進しなければならないのだ。

起て、全國の俸給生活者よ。

再び云ふ、我れ等は現在の普選法を更に徹底せしめ、進んで行政司法の民衆化をも得なければならぬことを知つてゐる、先づ現在の反動議會を解散せしめ、又專制田中内閣をぶつこはさねばならないのだ、そこで俸給生活者は、…一齊に憤起しなければならない、記者も、會社員も、銀行員も、官吏も、商人も、其他すべての俸給者は蹶起して鬪爭に進め。

我れ等の敵は何地か？

我れ等の味方は唯れか！

見よ我れ等の農民は如何に我れ等俸給勞働者と共通の目的に果敢なる鬪爭をなし、又我れ等俸給者の參加を心から待つてゐるではないか！

來るべき總選擧は戰場だ！

諸君！俸給者よ用意は出來たか！

我れ等俸給者は用意は出來た。見よ、かならず見事なる、活潑なる展開を見せるであらう。

まさに俸給生活者の總選擧に對する役割は重大である、この立場に立つて進まれんことを切望する。

無産農民黨の威力を示せ

上杉定義

總選擧の期日は愈々切迫して來た。我々農民は從來政治的自由の獲得のために勇敢なる鬪爭を續けて來たが、今や最後の大衆動員としての投票鬪爭の瞬間に近づいた。勿論階級鬪爭の根本目的は、投票によつて決定されるものではないが階級的意識ある無産代表が中央のブルヂョア議會に參加し、選擧戰及び議會鬪爭を通じて大衆を指導し、其の鬪爭力を高めるにある事は謂ふまでもない事である。然しながら投票によつて無産階級がいかに自己の問題を理解し、そして其の解決のために努力してゐるかと謂ふ事を知るための計量器となるのであろう。來るべき總選擧は、普通選擧とは名のみであつて、地方長官、警察官を通じて既成政黨の行ふ選擧干渉のため、制限選擧と大差のない事は、昨年の府縣會選擧によつて明瞭に教へられた事である。昨年の議會において、政友、政本兩黨が全力を注いだ所の『政府不信任案』も、解散を恐れ遂に三黨首の會合する所となり、前代未聞の醜合政治を演じて議會をして群疑嘲笑の的たらしめてまで、辛うじて其の餘命を保つた第五十四議會も正に解散されんとしてゐる。我々は徹底的にこれを彈効し、其の解散を期せねばならない事は謂ふまでもないが、例へ解散を免れても怨府の的たる彼等既成政黨の牙城に突入する時は來た。從來既成政黨が我々農民階級に對して、いかに暴虐と壓迫を恣まゝにして來たかは、我々の日常において鬪爭して來た苦い體驗によつて明かではあるが其の一端を指摘して見るならば、現政友會内閣が金看板中の金看板として、提唱しつゝある地租委讓の問題がある。一寸見た所では、政友會の提唱する地租委讓によつて農村の經濟狀態が回復するかの如く思はれるが、農民階級の立場より考へれば、それは却て迷惑な事である。大體地租は明治十七年に改正した法定地價を基礎としたものであつて全免されても我々農民には大した事ではなくして、地租委讓は必然それに伴ふ所の營業稅委讓

（是れは從來の議會史にあつても營業稅が常に地租よりも先に輕減せられ、現に大口大藏次官によつて既に唱へられ、商工黨たる民政黨が地租委讓の通過すれば提案する事は必然な事である）

によつて都市商工業に壓倒されつゝある農民の負擔はより以上に重くなり、更に又地租委讓の重點である所の財源補塡の問題が明かでなく、若しこれを間接稅等によつて補はゞ農村の振興にあらず、寧ろ破壞である。農地法案に付いては、既に（十二月號の私の農民運動の現狀に就て參照）簡單に述べたから、省略して、田中内閣組閣當時の施政方針演說において、『農村振興は公平なる肥料の分配にある』と謂つて其の無常識振りを發揮し、世の物笑ひとなり、後に至つて其の體面を保つために作つたものに『肥料の需給改善案』がある。これも自給自足の出來ない我國の現狀にあつては空名に過ぎず、安價なる肥料を農民に與へるを目的とせる如く裝ひ、肥料會社の助成を叫んでも、結局資本家の保護となつて了ふ。東洋窒素肥料組合の如きは關稅に加ふるに權利料をもつてし、却て農民には重き負擔となつたではないか。この不始末に對して質問せんとした、政友會の一代議士も一喝を食つて止めて了つたとか、斯くの如くして彼等自ら其の醜狀を曝したのである。尚ほ民政黨の政策に對しても解剖のメスを振へば限りがない。然しこの小論では到底盡きつくす事が出來ないが、彼等がいかに黨利黨略に汲々としてゐるかは、政友會の地租委讓に對して地租の一分減又は二分減を提唱して居る事によつても知る事が出來る。政友會の大地主黨たるに反して、民政黨は小地主黨のため、地租委讓は何等直接利益がない、それよりも寧ろ地租の一分減、二分減によつて地租輕減をする事が得策であるためであつて、黨略より一歩も出でしものではなかつた。尚それぱかりでなく、既

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

成政黨が無產農民に對する直接的彈壓は、內にあつては昨年の金融恐慌以來頻發せる、立入禁止、立毛差押へ等によつて地主擁護振りを敢行し、外は朝鮮、支那に對し弱少民族を××し、又は露骨なる軍國主義を發揮せる等列擧すれば限りがない。斯る××の下にあつて、我が無產政黨は惡戰苦鬪して戰ひ取つた所の總選擧は遂に來た。既に府縣議戰において選出せられた無產黨議員が少數でありながらも、其の一擧手、一投足每に常に政界に大波瀾を描きつゝある活現象は、如何に無產階級の力が强烈であるかを示してゐる。今や無產政黨も過去の對立抗爭の誤りを精算しつゝ、昨年末より合同の氣運漸く動き、統一へ、統一への叫びは全民衆の要望となつて湧起つた。殊に最近に至つて成立せる、全日本農民組合と、全日本農民組合同盟の組合同は、農民運動の一躍進であつた。斯くして今や選擧協定ほゞ成立し、勞農戰線は統一されつゝある。だが我々は決して樂觀する事は出來ない沒落の過程を迪りつゝあるとは謂へ、尙ほ既成政黨は、其の永き歷史的勢力と、全國的、地方的にその組織がある。又政府、地方長官、警察官等の其の公平性を失つた選擧干涉のあるであらう事を忘れてはならない。新らしく生れた一千万の有權者も政治的團結なくしては、烏合の衆に等しい。組織なきため既成政黨の魔の手に分取され、其の餌食ともならば、それは徒らに政界腐敗を擴大するのみ。我々無產大衆によつて克ち得た所の選擧權は、政界を動かす原動力である。そして多數のみが勝を制する現在にあつては、一票と雖も粗末にする事は許されない。眞に無產大衆の前線にあつて戰ふ所の代議士を選出する方法と能力は我々に與へられた唯一の特權である。從來の選擧にあつては候補者に賴まれて投票しつゝあつた受動的な態度が選擧界墮落の根源をなしてゐたが、我々無產民衆は、かゝる消極的な態度を捨てゝ積極的態度をもつて全被壓迫農民のために勇敢に鬪爭する我等の代表者を、既成政黨の一步も侵し能はざる樣に死守し、金城鐵壁の如き安けさ中において議場に送る事が、我々無產農民に與へられたる當面の任務であらねばならぬ。(一九二八、一一、一〇)

無產婦人はかくして戰ふ

全國婦人同盟　大木しづ

第五十一議會に於いて不完全乍ら普選法案は通過した、廿五歳以上の男子は選擧權を與へられわれ〱の無產政黨は結成せられたが不幸にして其の勢力は四分五裂して對立した。そして昨年の九月には府縣議戰にのぞんだが、各無產黨は分裂對立の不利益を嫌といふほど經驗しなければならなかつた。しかも强力なる支配階級に對して直接に對立し、實際に苦き戰ひを鬪ひつゝある一般大衆は殊更に强く味方の不利益を痛感せずには居られなかつたのである、かくして一般無產階級戰線の一翼を構成する無產婦人大衆が今總選擧に直面して眞先に考へることは味方の陣營の統一に外ならない、今や日農、日勞兩黨の合同もその機愈々熟し、來る十六日には社民、日勞、勞農三黨の選擧協定委員會も開かれんとする折柄、合同實現への過程としてのこうした現象に對しては無產婦人としても深い喜びを禁じ得ないものであり、現段階に於ける此の合同へのあらゆる努力の成否は、一般無產婦人の解放とも密接な關係あるものとして總選擧の樣な一つの重大な契機に際し、特に强くその成功を希求するものである。

普選による最初の總選擧として來るべき選擧戰は、わが無產階級の戰線の擴大に可成り重要な意義を持つ事に對しては、誰しも異論のない所であらう。そしてかゝる重要な時期に際しては、各階級共に自らの政治的地位なり、要求なりをはつきりと自覺し、最も有效に戰ひ拔かなければならない。わが無產階級の婦人は、しかし一般としてはこうした問題には從來餘りに無關心であり過ぎた憾があるが、最近頻りにその生活をおびやかした所の金融恐慌は臺所より婦人の經濟的、政治的機構に對する關心を呼び覺すべき下地を作り、昨年中にはこれら無產婦人を中心とする婦人團體の結成をすら見るに至つた。

かくしてこれ等無產婦人團體は婦人特殊の立場より、あらゆる產業に從事し、あらゆる社會的機構に參加して、社會の發達に重大なる役割を勤め、多額の間接稅を負擔する所の婦人に對して、政治に參加すべき所の選擧權を與へよ！、婦人にも政黨結社を作る權利を與へよ！われ〱無產婦人より搾りとつた所の公費によつて無料產院を作れ！、農村の忙繁期には同じく公費による無料託兒所を作れ！、婦人の坑內勞働、深夜業は卽時廢止せよ！、工場の設備、寄宿舍の設備改善、勞働婦人の產前產後の休養、工場內の託兒所設置その他あらゆる婦人勞働者の爲に完全な保護法を作れ！、小學校用品、生徒の晝食は公費で支給せよ！。

その他あらゆる婦人の不平不滿の解決の爲に鬪爭しつゝあるのであるが、しかしながらこれ等の要求を眞に理解し、その實現の爲に最も忠實に鬪爭しつゝあるものは、無產政黨に外ならない事は、既成政黨よりその罪禍のみを見せつけられてゐる現代婦人の、等しく理解する所である。又婦人特殊の要求といふも、畢竟無產階級の要求であり、無產政黨の揭ぐる要求は一つとし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て婦人の日常生活と密接なる關係を持たないものはない。そして無産階級の勝利を措いて無産婦人の勝利があり得ない以上、われ〳〵無産婦人大衆は先づ來るべき總選擧戰に於いても、無産政黨の勝利の爲に全勢力を擧げて戰はなければならない、一般無産婦人大衆は各地に於いて無産黨候補の爲に、或は婦人の懇談會を作つて事務所より、或は婦人獨立の演說會を開いて一般民衆に訴へ、乃至應援隊に加はる等手を盡して戰はねばならぬ。かくしてのみわれ〳〵無産婦人は此の總選擧を最も有效に戰ひ得るであらう事を、私は强調したいと思ふのである。

普通選擧と植民地

赤尾善徳

普通選擧の實施に依り、在日本朝鮮人は、ある筋の調査に依るに二十萬と云ふ多數の有權者を有つてゐると云ふ。

植民地の民衆が、選擧權に依る實行を利用し、本國の政治を左右するに至つたゝめ、之が及ぼす選擧攪亂の影響は彼の帝國主義者の常に恐怖とする處であり、曾てローマの如き大帝國に於て、また最近の英國のアイルランドの如き例は、帝國主義に與へたる一大脅威であつた。

日本に於ける普通選擧が、朝鮮内地を無視して、本國に在住する一部の朝鮮人にのみ選擧權を與ふる如きは、元より帝國主義者の陰謀と、植民地除外の一般的通例として不信を抱くほどのものでもないが、しかしながら已與されたる在日本二十萬の朝鮮人の選擧權は日本最初の普通選擧の結果如何なる影響を持ち、また、何程の威力を有するであらうか。

我々は、植民地民として、朝鮮民衆が日本無産階級とその未來に對する希望と運命と竝に、現在に於ける闘爭過程が同一過程のものであることを斷言する。しかしながら在日本二十萬の朝鮮有權者が果して如何なる選擧の結果を齎らすであらうか。我々は朝鮮に於ける組織大衆が絶對に我が日本無産階級の勝利を促進しまた共同的闘爭に依る支持を惜まざることを信ずる。しかしながら現在に於ける反動的勢力に綾操られてゐる大衆の組織の多きこともまた否定を許されぬ事實である。

斯る狀態であるが故に、我が各無産政黨は我等の將來に對する前提的試練であるこの最初の普選を前にして、我々の闘爭とその力をより一層强力ならしめるため戰線を統一し、果敢なる闘爭を展開すると同時に、植民地民衆との提攜は云ふまでもなく、在日本朝鮮大衆をより一層鞏固に結團せしめるやう最善の努力を拂ふは、日鮮無産階級の政治的自由獲得の急先務であることを茲に斷言する。三一一八

（三十二頁ヨリ續ク）

──これ健さん、そんなことをいふてくれられれちや困るぢやありませんか、さあ、もう歸りませう。あとから私がなんとかお願ひして見ませうから──

と宥めながら、屋外へつれ出した。つれ出して置いて從姉妹は更めて中へ這入つて行つた。が、私として最早、それをたしかめるの愚を繰り返したくなかつた。だが私は、自分の頭の中を日と、ともに皺を刻み、腰の屈んで行く老ひた母の顏の、姿の去來するのをどうして追つ拂ふことが出來やう！　──十一月三十日──

無産政黨よ決して分離するな

松本研治

無産政黨選擧協定第二回協議會は、議會解散の日、一月二十一日東京芝協調會館に於て開催された。當日の選擧協定は第一回協議會に於て規定せられたる原則案を中心として、地盤の實際的協定を協議した。

この會議は、從來犬猿の如く無産階級陣營内に於て指導理論を闘はし來たる、各無産政黨の對立を、闘爭の實踐に直面して、互讓し得るもの、また互讓し協同の戰線に動員し得るものといふ確信を、敵の中にも、味方の中にもヒシときざみつけた有意義のものであつた。

我等無産階級は、「統一戰線」の理論の中に於て、しばしば、叫ばれて來た無産政黨の協同闘爭が、斯くも力强く我等の目前に事實となつて具現せられたことを、心から喜び且つ迎へるものである。

然るに、各紙の報ずるところに依れば、大阪に於ける選擧協定が、勞農黨側の提出したる具體案の中に、第四區より鈴木文治氏を除外してあつたために、紛擾し、いろ〳〵協定を進めたが結局解決をみなかつたといふことである。

我々は、この不詳なる報道がもし事實であるとするなれば、無産大衆はこれに對しては、無條件に反對し、關西協定會議に向つて徹底的抗議をしなければならぬ。例へば、それが勞農黨の陰謀にしろ、社民黨側の野心にしろ、今や、普選に直面して無産階級の政治的闘爭の第一段階を踏まんとして希望を託しつゝある無産大衆とは何の關りもない。無産大衆が眞に無産政黨の選擧協定の成功を希ふ所以は、單純なる何黨支持のためではない。我等無産大衆の政治闘爭を一線に動員するため、無意義なる分離、對立を排除するためである。（終り）

三運動と日本勞農黨

淺沼稻次郎

一、序

　我が日本勞農黨はその昨年末の大會に於て，生活權擁護運動、徹底普選獲得運動，第五十四議會彈劾運動の三運動を起す事に決定し今や此の三運動は全國の無産大衆の支持せる所となり全國的に卷きおこされつゝある。

　此春の金融恐慌以來、國內の不景氣はその極に達し民衆の生活は極度に脅威され、工場の閉鎖、賃銀の切り下げ、失業の續出、立入禁止、立毛差押へ等、資本家、地主の暴擧は各地に行はれ全民衆の中からは、生活權擁護の叫びがあげられ、これ等生活權擁護運動に關する資本家、地主、政府の制壓に對しては全民衆の各層から反抗運動が起つて來た。

　我日本勞農黨は之等反抗運動を立禁反對運動、反賃下運動、家賃值下運動、電燈料瓦斯料值下運動として各支持團體と協力して之にスローガンと組織を支へて全鬪爭を政治的搾取よりの解放運動（政治的自由の獲得）に統一し指導して來た。更に府縣會議員選擧に依つて普選の不備、政府の選擧干涉の暴狀が民衆に曝露され民衆の中から選擧の自由、徹底普選の獲得の要求があがるや直に大衆の政治的意識を高む可く徹底普選の獲得運動を提唱し十一月七日ロシア革命紀念十週年紀念日を期して實際運動に入つたのである。

　我等の眼前には制限選擧による最後の議會たる、第五十四議會が階級的性質を曝露せる第五十二議會、第五十三議會の延長として開會せられ、民衆の既成議會に對する不平は議會彈劾の要求の聲となつて表はれて居る。

　我黨は此の民衆の不平、反抗、要求を三運動に組織し第五十四議會の門口に迫り大衆を政治的に動員すると共に未組織大衆を黨に獲得し、大衆と共に「政治的搾取よりの解放」を鬪ひぬかんとするものである。

　此の三運動は我黨の日常鬪爭であり第五十四議會對策である。

　三運動の波に乘つて總選擧へ――これが我黨の行動スローガンである。

二、三運動の意義

1 生活權擁護運動

　金融恐慌以來民衆の不平、反抗は到る所に潮の如く起つた、之に我黨がスローガンと組織を支へて全鬪爭を政治的搾取よりの解放の運動に統一指導せる事は前述の如くなる本運動は組織大衆のみならず未組織大衆、俸給者、小賣商人、被使用人、青年、婦人、水平社員等全被壓迫民衆を包含した一大運動に組織し之を黨に獲得し更に徹底普選獲得運動に結びつけ全民衆の政治的解放を鬪ひぬく事に重大な意義がある、

　故に三運動は支持團體、全國借家人同盟、婦人同盟、勞農團體との緊密の連絡の下に行はれ地方的には縣政市町村政革新運動に發展しつゝある。

2 徹底的普選獲得運動

　本運動の意義は全民衆の政治運動を發展せしむる第一條件を鬪ひ取るにある、即ち民衆が生活權擁護の運動を開始する時、常に金力と權力の假借なき制壓の下に民衆がさられたるは我等のしば〱經驗せる所である「立禁反對運動、反賃下運動」に對する暴壓此の制壓と抗爭し全民衆を政治的搾取より解放することが本運動である。

　從つてそれは、

第一　民衆の政治的解放運動の第一段階である、何となれは徹底普選なくしてはより以上の政治的解放を期待することは出來ない關門の要求であるからである。

第二、單なる選擧法の改正に止まる運動に非ずして政治的解放の達成迄發展する所のまた發展せしめねばならぬ所の運動である。

第三に一般下層民衆の要望生活權擁護を合流せしめる運動であり全民衆に網を打ちかける所の運動である。

　故に本運動は生活權擁護運動と結びつけ第五十四議會に民衆の聲としてたゝきつけ更に全民衆を政治的に解放する迄鬪ひぬかねばならぬ。

全無産黨の立候補者

勞……勞働農民黨
日……日本勞農黨
社……社會民衆黨
農……日本農民黨

東京　一區佐野學(勞)渡邊善壽(社)二區安部磯雄(社)三區大道憲二(勞)四區唐澤清八(勞)宮崎龍介(社)五區加藤勘十(日)六區南喜一(勞)爲藤五郎(社)松谷與二郎(日)横田晃一(農)七區下田金助(社)

京都　一區水谷長三郎(勞)吉川末次郎(社)二區山本宣治(勞)三區舞鶴民衆黨

大阪　一區野田律太(勞)田萬清臣(社)三區西尾末廣(社)今井嘉幸(日)四區坂本孝三郎(日)鈴木文治(社)五區杉山元次郎(日)岩崎倭市(農)六區小岩井淨(勞)

神奈川　一區神道寛次(勞)西島吉兵衛(日)岡崎憲(社)神奈川自治黨二區片山哲(社)川島(民衆進黨)

兵庫　一區未(勞)河上丈太郎(日)堤良明(社)二區近內金光(勞)棚橋小虎(日)米窪滿亮(社)三區吉田賢一(日)

長崎　一區今村等(日)二區小池四郎(社)佐世保民衆黨

新潟　一區井上乙吉(勞)玉井潤次(農)二區布施辰治(勞)須貝快天(農)三區未(勞)網島正興(日)

埼玉　一區松永義雄(社)

群馬　一區須永好(日)二區畑桃作(農)

千葉　一區小山壽夫(社)三區未(勞)

奈良　一區清原一隆(西光萬吉)(勞)

三重　一區未　二區河合秀夫(勞)

3 第五十四議會彈劾

全民衆の憎惡裡に第五十四議會は開會された、そして全民衆の不平反抗は第五十四議會にむけられて居る、此の民衆の不平反抗要求を生活權擁護運動徹底普選獲得運動として組織し第五十四議會の門口に迫り之を制限選擧による最後の既成議會として彈劾し解散を要求し普選による選擧を斷行せしめ立法機關の內部に侵入し之を內部より曝露せんとするが本運動である、

田中反動政府は第五十二議會第五十三議會の延長として之の議會を通じて刑法改正法案、出版物法案の如き彈壓法案、地方分權地租移讓の如き僞瞞法その他資本家救濟費、增加する軍事費、出兵費より來る國家財政の破綻を間接稅のつりあげに依つて民衆に轉化し以て無產大衆をよりよく政治的に搾取する事に依つて大金融資本家に供物を提供せんとして居る。

然も與黨たる、政友會は勿論の事、反對黨たる民政黨、實業同志會、新政俱樂部等は政權爭奪の茶番狂言の外全民衆の利益を代表して鬪はんとはして居ない、此間に眞に全民衆の味方として立ち我國唯一の反對黨たる我日本勞農黨は第五十四議會の內容既成政黨の正體を曝露し、第五十四議會彈劾運動を發展せしめねばならぬ。

三運動のスローガン

一、電燈料ガス料の値下
一、家賃の値下
一、婦人夜業禁止
一、寄宿制の廢止
一、船員法海商法の改正
一、失業者救濟法の制定
一、健康保險法の改正
一、婦人參政權の要求
一、母性保護法制定
一、坑內勞働の禁止
一、公娼私娼の廢止
一、生活賃銀法の制定
一、勞働組合法の制定
一、立禁、立押絕對反對
一、耕作權の確立
一、完全小作法の制定
一、農地法案反對
一、休銀預金者國家補償
一、貧困者救濟法の制定
一、借地借家法の改正並に全國的實施
一、失業者家賃國庫負擔
一、入營者家族扶助料の國庫負擔
一、諸車稅の廢止
一、戶數割家屋稅の撤廢
一、日用品の消費稅並に關稅の撤廢
一、新聞紙法出版法の改正
一、治安警察法の廢止
一、行政執行法の改正
一、違警罪卽決令の廢止
一、徹底普選の獲得
イ、滿二十歲以上男女の選擧被選擧權
ロ、言論集會出版結社の自由
ハ、言論文書による運動の自由
ニ、供託金制の撤廢
ホ、投票日公休制と給料全額支給
ヘ、船員不在投票制の確立
ト、選擧干涉の撤廢
チ、缺格條項の撤廢
リ、殖民地に於ける普選の實施
一、第五十四議會彈劾

(五頁より續く)

投票日が二月二十日に決定された事は吾々無產階級に對する支配階級の彈壓の一表現であり、されば吾は一大抗議を進めなければならない。政府は棄權のあるは實に遺憾であると云ひ乍らも、民衆が眞の民衆政治を要望して無產政黨に投票せんとするに當り前日は休ましめ、投票日は工場や會社に縛りつけんとしつゝあるのだ。無產政黨への棄權率の多いは、既成政黨の望むところである。二月十九日の日曜日を何故投票日にしないかといふ叫びは大衆の反抗に迄高められつゝある。政府は投票の外、ポスター、その他の言論の自由を封鎖して、無產政黨本來の使命を高唱せしめないなど、普選の大精神をじうりんして憚らぬのである。今日の新聞によれば、既成政黨萬能の普選たらしめんとして、無產者のポスターは嚴重監視すると云つてゐる。日本勞農黨はいち早く聲明書を出して、田中反動內閣の暴擧に對して抗議した。日本勞農黨の抗議卽ち大衆の抗議だ。言論の自由を封鎖して何所に普通選擧の使命がある。精神がある。彼等の云ふ普選とは骨抜きされたそれを指し、無產大衆の要望は徹底普選の獲得である。吾等は普選の最大の敵である政友會には勿論自分が「普選の實施者だ」と誇る民政黨を總選擧を舞臺としていやと云ふ程暴露しなければならない。いざ、全無產大衆諸君、諸君は支配階級の橫暴を斷じて許すな。抗議する力は正義と時代と大衆の怒濤の如き力である。

一月二十六日(神庭)

愛知一區未(勞)勞農民衆黨二區加藤今一郎(日)
靜岡一區杉浦啓一(勞)望月發太郎(農)三區未(勞)
山梨 古屋貞雄(勞)平野力三(農)未(社)
岐阜二區大野金吾(農)勞農民衆
長野一區本藤恒松(社)二區高倉輝(勞)三區藤森成吉(勞)野溝勝(社)
宮城一區未(勞)赤松克麿(社)
福島二區石井鐵郎(社)
岩手二區泉國三郎(勞)
秋田一區 未(勞、日)二區 未(勞)長沼愛助(日)
福井 田村仙之助(勞)
栃木一區麻生久(日)二區大澤一六(日)出井盛之(農)
富山一區宮崎喜知識(農)
鳥取 村上吉三(勞)
島根一區福田狂二(日)二區佐々木隆太郎(勞)戸谷一雄(日)
岡山一區 未(勞)湛猶庸一(農)二區難波英夫(勞)
廣島一區未(勞)二區獨立民衆黨
山口二區奥田乙次郎(勞)
德島一區太田博(勞)
香川一區上村進(勞)二區大山郁夫(勞)
愛媛二區 未(勞)三區村松正俊(日)
福岡一區松本治一郎(勞)高崎正戸(農)二區龜井貫一郎(社)淺原健三(九州民憲黨)三區德田球一(勞)四區 未(勞、社)
鹿兒島一區山元龜次郎(勞)二區未(勞)
宮崎 未(勞)
北海道一區山本懸藏(勞)松下除一(社)二區荒川庄太郎(勞)三區加藤貫一(勞)四區木田茂晴(勞)五區未(勞)

我等の代表を必ず勝たせろ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全國婦人同盟は何故生れたか
如何に闘爭せんとするか？

南條しづ子

全國婦人同盟は次の如き構成分子を持つてゐる。インテリゲンチャ婦人、工場婦人、農村婦人、鑛山婦人、職業婦人、女給、女中、公私娼、家庭婦人。

しかして現在その同盟員は千二百、支部數は廿六に達してゐる。

全國婦人同盟の結成は一九二七年十月二日にして、後僅か三ヶ月の經過を見たのみであるが、その間、我同盟は全婦人層への進出、即ち工婦層、農婦層、鑛婦層、公私娼婦層、一般婦人層、一般職業婦人層に向つて、それ等の各層、及び要求の誘出並に要求の組織化、しかして大衆的無產婦人運動への發展の爲の果敢なる闘爭を展開し來つた。それ等闘爭の結果として我同盟の基礎は確立され、今や全婦人層に對して炬火の如くにその立場を明示するに至つたのである。

全國婦人同盟誕生の重要性

（一）日本資本主義は國際的經濟の一環として既にその資本の有機的構成は、高度に達し、殊に大戰以後、恐慌以後に於ける支配階級の無產大衆に對する搾取と抑壓は最も露骨なる方法を選ばれつゝあるとは言へ、一方、我國資本主義發達の特殊性に由來する封建的殘存勢力の遺制の幾多を認めざるを得ない。或は封建的家族制度、或は差別的待遇制度、或は封建的婚姻制度の如く。特に農村に於けるこれ等封建的諸遺制の存在は、農村婦人層の階級的自覺を極度に防止する原因となつてゐる。しかして又これ等封建的諸勢力は、最後の資本主義段階に於ての資本主義的搾取と共に、その最後の抑壓を婦人層に對してなしつゝある。かゝる客觀的狀勢を持つ我國婦人大衆は當然にブルジョア民主々義獲得の闘爭に參加すべきである。

（二）、現在、我婦人層に對する政治的抑壓は、男子の有する如き制限されたる政治的自由の所有は勿論、法律上の一權利をも認められざる狀態に置かれ、尚經濟的には、その賃金制に於て知る如き、又社會的待遇に於て見る如き數多の不平等條件は我々婦人の生活を極度に抑壓しつゝある。故に我々はこれ等劣惡なる諸條件の平等化の爲の組織的なる闘爭團體の必要を認めるものである。

（三）以上の如き客觀的條件は、去る府縣會議を機として遂に全國婦人同盟の結成を見るに至つたのである。

全國婦人同盟の立場

（一）全國婦人同盟は、大衆的婦人團體でなければならない、何故ならブルジョア民主主義獲得の闘爭の陣營には單に組織婦人大衆の參加をのみ要求すべきでなく、封建的搾取下にある全婦人大衆の參加を求むべきである。しかして常に我同盟は同盟の支持政黨なる日本勞農黨との緊密なる提唱により、この運動を發展せしむべきである。

（二）全國婦人同盟は婦人の政治的自由獲得の闘爭團體でなければならぬ。しかして、その闘爭分野は婦人經濟的闘爭團體のそれとは確に區別され、又常に我同盟はそれ等團體の經濟的闘爭を政治的闘爭に進展すべきである。

（三）我同盟は大衆的政治的婦人團體として、常に他の政治的婦人團體（急進ブルチョア婦人團體をも意味す）に向つて協同闘爭を提唱すべきである。

全國婦人同盟の具體的政策

全國婦人同盟綱領

一、我等は我國の國情に即し、婦人の特殊なる地位に應じてその向上と智能の啓發を期す

一、我等は團結の力により着實なる手段によりて凡ゆる不合理なる婦人の隷屬的地位の改革を期す

主張

一、治安警察法第五條の即時撤廢

一、婦人參政權の獲得

一、男子不平等法律の撤廢

一、教育機會均等

一、兒童及母性保護に關する諸法律の設置

一、公娼及私娼廢止

一、婦人の深夜業勞働坑內勞働並に寄宿舍制度の撤廢

一、男女不平等賃金制の撤廢

一、消費組合運動の促進

我同盟は、同盟の立場が必然に決定すべき綱領並に主張として右の諸條を我大會に於て決議した。しかして、その綱領、主張に合致すべき具體的政策は又當然次の如きものであらねばならない。

（一）日本資本主義の特殊性に依り、婦人解放運動をブルチョア民主々義運動に合流させる必要上我同盟は、日本勞農黨の民主々義運動[illegible]徹底普選獲得の闘爭に、合流しつゝ、婦人參政權獲得、兒童及母性保護法設置、公私娼廢止、婦人の深夜業勞働坑內勞働並に寄宿舍制度の撤廢、の諸運動より成る一大衆的婦人運動を今や全國的に展開しつゝある。

（二）我同盟はその日常闘爭として日本勞農黨婦人部の啓蒙教育の運動に當り、特殊的婦人運動への動員に具へるべきである。

（一）各組合婦人部に對して

も常に啓蒙教育の任に當り、その各々の要求に對して闘爭を開始すべきである。併して、男女不平等賃金制撤廢、深夜業坑内勞働寄宿舎制度撤廢、兒童及母性保護法並に無料産院設置等のスローガンの下に闘爭しつゝある。

（一）一般婦人會に對しては、活潑なる社會的暴露運動を行ひつゝ、政治闘爭に參加せしむべきである。ガス、水道問題を提へつゝ、我同盟が日本勞農黨との提唱下に一大民衆運動を行ひつゝあるは即ち、この闘爭である。

（二）反動的婦人團體に對しては、あく迄その指導精神の克服をなしつゝ、それ等の地域的小團體即ち農村處女會等に對しては、それの自主化の闘爭をなすべきである。大日本聯合女子青年團結成に對する抗爭、農村女子補習學校設置に依る處女會の動員等、これである。

（三）他の無産及急進婦人團體に對しては政治的協同闘爭による、大衆的政治運動の參加に動員すべきである。

全國婦人同盟は以上の如き政策の下に常に客觀的狀勢の正確なる認識の上に、その闘爭を發展し來り、又今後も、その趣旨により、勇猛に進展せんとするものである、しかして全無産婦人大衆の名に於て如何なる苦難をも最後まで戰ひ貫く事を誓ふものである。

共同戰線論

永田繁澄

吾等の先覺者であり、吾等の慈父であるマルクスは全世界の吾々勞働者階級に向ひ萬國の勞働者よ團結せよ。得るものは全世界であり失ふものは鎖のみと云つた。然り吾等は此の言葉を金言として今日迄凡ゆる迫害と無謀なる壓迫にも屈せず、勇敢に戰つて來た、その結果は日を經ると共に彼等ブル共の溝は深くなり、吾々勞働者階級は益々確實に吾等の世界の近づきつゝあることを知り得たのである。

然るに現今の我國無産階級の解放戰線を見ると、勞働組合に於ても、將た無産各政黨に就て見るも、實に寒心に堪えざるものがある。

徒らに他組合、他無産黨の惡口、中傷する事のみ日尚ほ足らざるの感がある。

勞働組合に就て見るならば右傾と稱しては御用組合なりと中傷し左傾と稱しては小兒病なりと嘲笑する、無産黨に於ても又然りである。エセ無産黨であると云へば、又非無産黨である、反動政黨であると罵倒する。

此の結果はブル及びその政黨共に間隙を與へ、動もすれば彼等に乘ぜられ、剰さへ此の結果、蒙る組合員、黨員の損失は實に莫大なものがあるカテ、加へて此の機會にブル新聞は一齊に筆を揃へて仰々しく報道し、而して吾等を勞働組合、無産政黨より寸時でも遠ざかる可く懸命、無中である。

斯る狀態を見る時、果して現在の組合運動者に、此のマルクスの言葉を信じ、此の思想を持つ者があるか否かを疑はざるを得ないのである。

吾等の敵はエセ無産黨でもなければ、御用組合や、小兒病者でもない、只ブルジョアのみである、然るにブル共に向ける戰線を持つて各組合や、無産各政黨も同志討をするが如きは、實に言語道斷の限りであると云はざるを得ないのである。

昨秋行はれた府縣會議員の當選率を見るに、候補者の率から見るならば、問題にならざる位の當選率であつた。若し、此の事實に就て考ふるに若し各無産政黨間に何等かの協定——共同戰線が——萬一出來得たならば、或は斯る多數の落選者を出さずに濟んだであらうとの感は、各政黨各組合員の痛感した處である。

斯る時にブル新聞の報ずる處に依れば、日本勞農黨と日本大衆黨と合同の前提として共同戰線を布き、來る可き總選擧に當ると云ふ事である。

此の事は吾等が今日迄聲を嗄らして叫び、要求して止まざりし、吾等に取つて實に喜ばしき事であり、更に吾々に大なる力を得たと云ふべき慶事であらう。力が吾等が團結し、組織され[illegible]日にも早からん事を希望して止まないものである。

[illegible]——も只選擧戰線のみに使用せられ、若し選擧が終了したならば、個々別々になるのではなからうかと云つて居る。

吾等は信ずる、吾等の要求であつた共同戰線——合同の前提——は決して選擧のみであつてはならない、此の地上にブルジョアが存在する限り永遠に共同戰線——より合同へ——は必要である、願はくば日本勞農[illegible]戰線を——實行す可きである。

然し共同戰線を布くため[illegible]又々分裂[illegible]が如き事は絶對に禁物である。

最後に吾々の敵はエセ無産黨でもなければ小兒病的勞働組合でもない、ブルジョアだ。ブルジョアだ。敵をハツキリ見定めよ。各無産政黨が共同戰線を布き、來る可き總選擧に當るならば、候補者の全部が當選する事は信じて疑ひを入れない處であらう。

全土戰報

在滿百萬同胞を救へ

十二月八日、中國吉林省寧安縣紅匂子に於て十餘名の白衣同胞が橫暴無双な馬賊？の爲めに無慘にも慘殺されて以來、引續き在滿百万餘の我白衣同胞は實に最後破滅の運命――中國北洋軍閥の巨頭である張作霖の絕對專制的彈壓下に人間として、耐えがたき、壓迫と迫害の驅逐を受けつゝある。

こゝにその具體的事實の一部分を簡單に諸君の眼前に展開する。

十二月三日頃、吉林省長は突然に我が白衣在滿移住同胞に對し、殘忍極まる前代未聞の暴壓令、――驅逐令を何等の顧慮も躊躇もなしに驟雨の如く狂暴に發した。そうして同胞等の土地を剝奪し、學校を閉鎖させ、生存權を蹂躪して生命を威脅する等々實に神人共怒、文雅盡き果てるやうな迫害を徹底的に斷行し、

朝鮮衣服を着用する者は嚴罰する。

命令に依つて退去しない者は監禁する、

地稅及各種賦課は中國人と同等に納入せよ等々彼等の暴壓はその正體を赤裸々と表現された。

だが、彼等は中國軍閥走狗等はこれでも未だ滿足しない、彼等はこれ以上一層冷酷な強壓を下したのだ。新聞紙上報導に依れば中國吉林省万石縣地方に於ては生きて居る人間！我が白衣同胞四十餘名を強制的に馬車に載みかされて塵芥の如くして―境外に放逐してしまつた。これぞ世界無比の強壓ではないか？野獸的、野獸的暴壓の狀態を言ひ表はしられる適切な形容詞はないだらう！

そうだ、それこそは我が朝鮮白衣民族と同じく×××××なる×××××日本帝國主義治下に完全に隷屬されてゐる民族に於てのみ、多く斯かる現象が見られるのだ、でなければならない筈だ、それは我が朝鮮民族のみが受けてゐる獨特な悲哀の現象だ。だが我々の批判は斯の如き現象を羅列した丈ではならぬ。我々の視角は、これは恐怖と威脅の殺伐的現象の最底層へ向けなければならぬ。

我々の最高搾取體として結成された××の帝國主義××は、その自體の內的體系の破綻に依つて、且又外的、國際的情勢の刺衝を受け、必然的にその一時的安定策として積極的××政策を國外にまで擴大、延長せざるを得ない。昨年以來、日本政界の急激なる變動と、亦これにともなつて現はれた對支出兵、滿蒙侵略、植民地朝鮮民族に對する徹底的××との如き、これ等の諸現象は卽ちこの事件を最も雄辯に物語る主要現象だ。彼等は斯の如き積極的對外政策――非×××、××的彈壓を滿蒙及び朝鮮と同じい未開地域に延長擴大することに依つてのみ××されつゝある政治的經濟的機構の一時的に安定が出來るのだ。

そうだ、日本帝國主義の××の進路は朝鮮と滿洲がその生命でなければならぬ。それが斯の如き要塞を造る、斯かる見地から、我々は今般の在滿同胞驅逐事件の直接原因を最も明白に理解出來る、在滿同胞の驅逐！、これが決して中國の持に頑固な軍閥の所爲ではないのだ

『一昨年の六月、××××は張作霖と、我が百万同胞取締に關して、何を陰謀したか！ 彼等は今亦何をなしつゝあるか！ 今度の張作霖の暴擧は、この陰謀が支那革命の急激と、世界戰爭の危機に依つて速かに實現したにすぎないのだ』(大衆新聞)

全被壓迫大衆諸君！ 在滿百万同胞の運命こそは、諸君の明日の運命なのだ！

全日本の被壓迫大衆諸君！ 諸君は苛凍る滿洲の野に××されんとする百万兄弟を斷じて見棄るな！

滿蒙積極政策を絕對反對せよ！

支那革命運動を積極的に支持せよ！

朝鮮總督××××××に絕對反對せよ！

在滿同胞救金を送れ！

張作霖を倒せ！

(救金は本誌發行所宛か、又は東京府下戸塚町源兵衛一四四、在日本朝鮮勞働總同盟宛に送金する事金光洋)九二八、一、四

朝鮮無產者の情況を見よ!!

朝鮮は植民地である。帝國主義日本の植民地である。××な帝國主義日本の植民地民である朝鮮無產階級の情況は如何であらう。

見よ！日本の同志よ！

朝鮮無產階級の情況如何を！

日本政府は、自國の人口增加率過高に困して起りたる人口食糧問題を解決する爲め、一方は國內の無產者運動を緩和せんが爲め、日本人の朝鮮移住を極力獎勵した。しかし、朝鮮は日本の移住民を包容する餘地は無い、未開拓の荒地を所有する朝鮮ではない、面積に比較して人口は割合に稠密である

斯うなると、日本移民は、朝鮮小作人の小作權奪取が移住の目的となる、朝鮮の小作人が生命を懸けて居る耕作地は、日本移民の耕作地になつて移ふ、故に、日本人一人移住の結果は、朝鮮民一人の流離者を生ずる。否、一人移住の五倍に相當する。百人の一團が移住する影響は、一人流離者の數十倍に相當する。數十人の流離者を生ずる。

然れば、十數年間日本人移住の結果は、どれ程の朝鮮貧農階級を間接的に、國外に逐出したのだらうか？

此れは、帝國主義日本の植民地たる朝鮮の最近の特產物である。此の特產物、卽ち朝鮮無產者の一部分は鄕土を離れて、或は日本に出稼したり、或は南北滿洲に移住して、一生懸命に働いて其の日其の日の暮しをしたのが、今日以前の狀態であつた。

しかし、昨今に於いては、日本渡航は阻止され、且つ南北滿洲に移住した者は、中國北京政府の密令に依り、各省令で發表した「朝鮮人逐出命令」を受けた新迷な中國官憲の迫害の爲め、其所にも住居を定める事が出來

なくなつた（今度の逐出事件の裏面に付いて種々の風說があるが此れは此所には述べぬ）

以下、逐出される者の居住地は、何處にも定めるべき所がない、只、泣いて居るばかりだ。

泣いてる者が此れだけか？

渡航を阻止された者は、釜山で泣いてる。滿洲移住の目的で渡江した者は、國境の新義州で泣いてる、未だ行裝を整へない者は、鄕土で飢へて泣いてる。

朝鮮無產者は、南に、北に、中央に、何處にでも泣いて居る。

此れが、現下朝鮮無產階級の狀況である。

斯樣な情境に處せる朝鮮の勞動者は、重疊の法網の中で、縱に、橫に活躍して居る此れが、落望の深淵に投身せんとする者の唯一の慰安劑となつて居る。

あゝ！ 理想の新社會よ！

（李丰庚）

漸く動く農村の空氣

「新舊の衝突」 現下の農村には漸うした銳どい空氣が漂うてゐる。如何なる僻村片田舍へも浸潤して居る事實である。純眞素朴の裏に孕まれたる社會的結果であろう。それは資本主義文明の恩惠？に爛れ切つた帝國主義自身の持つ病毒に外ならない。

再び彼等選良達が所謂る濟き一票を掻き集めんが爲に、地租委讓自作農創定等々の空手形誤魔化しに腐心してゐる時、餘りにも窮乏のどん底にふるへてゐる農村との對立は何を物語るかそは我等の行路を指示してゐる現實問題である。彼の家も此の一家も不和だ嫁は姑と爭ひ、弟は兄と鎬を削り、喧嘩噂等々繰り返さる悲慘事は。益々迫り來る貧農達の運命である。

一方は封建的殘骸思想であり。他は小ブルジョア追從思想それが衝突である。事大思想の親爺は總てに從順主義を取り、保守的である。此の親の兒はブルジョアカルトに影響され、多分にその氣分を持ち華美を好み。鋤を捨てて小ブル的事業を夢みる工場へ、會社へ、都會生活の誘惑に乘ぜられ易い。

然れど此の傾向を緩和さす現下の農家には經濟的餘裕は有り得ないのだ。故に不可避的な衝突の結果は益々窮乏が加はり、自由も幸福も奪はれ易い、傳統も習慣も破壞される。

そして地主、金貸に村の實權は握られて了ふ。が斯樣な農村疲弊の運命の中に我等は一ツの曙光を認めて居るのだ。總て

都會に走つた子弟達が疲勞と無一文の裸で村に復歸して。過去の無自覺を知り。新舊鬪爭の原因を究めその憤怒の遣り場の誤つて居た事を悟る。此の瞬間こそ農村と都市プロレタリアをつなぐ鎖りであり。農村甦生××の閃光が彼等の心臟に炎へ上るのだ。

此の農村の保守と急進の裏面に芽しつつある空氣こそ、來る社會を描きつつある。一・五・

（高知縣佐根泰郞）

和歌山の戰線

南海紀州の社會運動の歷史は古い。あの先驅者幸德の遊びし地その同志として、生死を共にせし者も又多數出でし土地だ。然れ共反動封建の勢力も亦未だ王國を築いて居る。その中に在りて俺達は勇敢に鬪つて來た。總同盟の前身友愛會の支部として大正八年先輩の血の夜に生れてから勇敢に反動と鬪ひ、惡道無類の資本家共に抗爭し、××なる官憲と爭つて無產階級の爲に解放の道を進んで來た。幾多の尊き犧牲も出した。總同盟が墮落した時卒先彼等の誤りを指摘し、その專制にして暴戾なる態度を排擊してその正義を鮮明にし更にガチャバへ左右小兒病を排し、階級正道を天下に呼ばわつて、日本勞農黨が出現した時も第一その旗下に加はつて、多數の同志は未組織の和歌山縣下の農民の團結に力を盡した。中にも赤路鬼平氏の如きは、寒中雪を冒して河を泳いでまで奮鬪した。山中章光氏家を忘れて善戰した。それに對して左翼共產黨の手下共、又樣故など相よりて策動し、多少の無智の農民を獲得し猥りにも日本農民組合和歌山聯合會と稱し、我等の純正運動に對しあらゆる逆宣傳とデマゴークを飛して、中傷し、ひたすら自黨の勢力を張らんと、ある時は反動と共同戰線を張りてまで力を盡せども農民は何時まで馬鹿でなかつた。殊に那賀郡池田村の小作爭議に際し、そのリーダー田邊某は何事も盡くさず、本部に逃げ歸り苦戰せる農民を見殺にしてしまつた、その後も彼等は和歌山は度し難き地の一言で、その無能力の曝露を防がんとせしも、それは、無駄であり、眞理にあこがれる人々は我黨の旗の下に集り來て、我等の同志の血戰は無ではなく全日本農民組合和歌山聯合會として實を結び全縣下一黨主義の旗は確立した、我等の戰線和歌山の同志の上に祝福あれ、日本勞農黨萬歲全日本農民組合萬歲（宮岡光）

青年の進む可き道

金融恐慌の大嵐は都會と云はず農村と云はず。我が國中吹き捲ひ、大金融資本家大ブルジョアジーは資本主義の安定を齎さんが爲め、生產組織の統一所謂產業の合理化に急ぎ、其の影響は必然的に都會の中小工場は操業短縮工場閉鎖の狀態となり、今や失業勞働者は激風吹き荒ぶ巷にほうり出され「吾々に食を與へろ働かせろ」との叫び聲は失業勞働大衆の血の出る樣な叫びではないか。農村は繭價の暴落、稅金の加重、自作農の沒落の運命をたどりつゝあり、其の事情により當然小作人階級は益々貧農化し農村はより以上に疲弊のどん底に突落されんとしてゐる現場面ではないか？

青年諸兄よ、未來の社會を形造る者は若々しき血のたる樣な青年ではないか、青年諸兄よ眼を大きく開いて社會の實狀をしつかり見よ、急變せる環境は切々として我等の自覺をうながして止まず。人類の社會組織は古代いくたの變革を經て發展をなしたものである。一度人類の必要に應じて出來上つた合理的な社會制度もいつかは不調和となり又は建設されたる社會も、後には不合理となり、社會進步を防害する樣な社會組織となり、そして此の樣な不合理な社會組織になつた時それを改革もなさず、新しい社會組織に進化しなかつたなれば、人類は何時かは退化滅亡してしまはなければならないであらう社會組織は常に生產能率の低い生產組織が、生產能率の高い經濟組織にと變革し發達して來た事は歷史を見ればよく解る。見よ此の資本主義制度の以前の社會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

組織あの大名武士の社會であつた。封建制度が崩壊しあの滅亡せんとする德川末期よりのがれんとする人類の努力が社會の大革命であつて、明治維新は實に吾が國の大名武家政治の封建の社會制度から、現資本主義制度への社會に進化した處の、社會の大改造であつた。明治維新の革命がなかつたならば、おそらく今日の樣な進歩發達は得られなかつたであらう。そこで吾等青年は過去のこうした社會進化の現實を考へ、そうして、今吾等の現在及未來の事實を考察し、自分の爲め、國家の爲めに奮起せなければならない。吾が國は前に論じた樣に政治的に經濟的に行詰り居り、資本主義經濟組織はあらゆる方面に於いて崩れどうしても現經濟制度を變革せなくば、どうしても人類多數の最大幸福は得られないであらう。今や資本主義は行詰つて×れつゝあるとの叫びは一般社會人類の叫び聲であり、且又一般民衆は社會の大改造大改革をなさねばならんと大口に絶叫しつゝあるのではないか。こうした時機にこうした危機が社會を襲ひ、既に眼前に迫つて居るのに一般青年は輝きある新社會を建設せねばならない、重大使命の自覺を有しないで、過去に於ける社會進化の過程にも亦未來社會の建設にも目醒をされて居り、青年は青年自分自身で萬の事を處理しなければならないと、云ふ事さへも自覺しないで、唯だ〳〵夢の中に迷つてゐる感があるのではないか。しからば現在の官製青年團の内部を見る時老人閥官僚の古手連の精神的支配であり、所謂青年團處女會女子青年團はいづれも現支配階級の意のまゝに左右され、彼等の道具とされて居る事はかくれもない事實である。

　青年よ目を醒せ、公平なる態度で社會を批判し、凡又青年團がいかなる爲めに組織され、いかなる階級の用をなして居るか、亦いかなる使命を有するかを吾等は徹底的解剖し、吾等は事物に對しあく迄辯證法的に考察し、深究し、批判しなくてはならない、吾々は現社會制度の代勢に對して盲目的であり、無批判的であり、傍觀的であつては斷じてならないのである。

　吾等青年は、社會構成の一人として生存して居る以上決して社會の退化や、滅亡を欲するものではない、そこで、吾等は社會進化の道程をよく見詰てより善き社會の實現の爲めに、もつとも合法的な手段により、新社會を建設せんが爲めに努力せねばならん。是れ青年の與へられたる、歴史的の使命でなくてなんであらう。　かの血のわき肉躍る明治維新の大業をなしたかの勤王の志士、高杉、阪東、吉田松蔭等も皆其の當時の若々しき血燃ゆるが如き熱情をもつた青年であつたのだ。吾等青年はあの維新の青年の志士の努力と、德川幕府から蒙つた迫害を忘れてはならないのだ。吾等は社會進化の法則としての運動のみが成功せると同時に未來の新日本建設の爲めに大意に努力しなくてはならない、見よ、勞働青年の進歩的自治運動は全く雨後のマツタケの如く至る處に增大しつゝある現勢ではないか。先づ吾等青年は其の啓蒙運動の第一歩として無理解なる時代錯誤な老人閥の精神的支配から退する爲めに、思想的に獨立し、自主自治の精神を養ふと共に、自分自身の手により青年團を確立統治せなければならない。そして進歩的覺醒青年は常に官製青年團の内部に喰入り無自覺なる青年を自覺せしむる事に努力し、其の青年を一人一人吾が陣營内にかき取り、官製青年團をして吾等無産青年團化せしめねばならん。その事によりあらゆる運動に對し組織的な團體行動にと進展せねばならん。其處に始めて名實と共に成る自治の行動が生れ、その時青年團としての意義があり進歩があり、向上があるのである。即ち青年個人々々の自覺と完成は青年團の完成であり、やがては結合されたる全縣的、全國的に覺醒的なもつと進歩的な急進的自由な全無產勞働青年聯盟の建設さる時であらう。滿天下の青年諸兄よ、吾等は自由の爲め、全人類の幸福の爲め、青年自治の爲めにあらゆる强敵をも「ケチラシ」して突進し青年の自由を自治のスローガンの旗の下に戰ひ取れ

（水野貝三郎）

不當檢束拘留處分

　一寸事件が古くなつたが、去る十月の末である。保土ケ谷の同志の家へ就職の世話を頼みに行つての歸途、俺は突然沿線を警備してゐた警官に檢束されたんだ。其の日東京から橫須賀の沿線を觀艦式の準備の爲め、海軍の顔利きの××得業士共が通ると云ふので、×が警備してゐたんだ。その忠實な××に俺は捕つたんだ。

　あとになつて素性を知つたのだが、×××上りで其の時、津田署から轉任して來たばかりの○○新平と云ふ司法主任から俺は其の日（二十五日）から十日の拘留にぶち込まれたんだ。所で俺は一體どんな理由で十日も喰らはなけりやならないんだ。觀艦式があるからとか、君は無職だとか、浮浪罪だとか、怪しいのでとらへてみたら主義者だつたからとか。ふざけるな××め！失職しちやあいけないのか、何故失職しなけりやあならないか、知つてゐるか。浮浪者だと云ふどこに根據があるんだ俺はちやんと夜になりやあ寢る家を持つてゐるんだ。何故主義者だつたのが惡いんだ。ルパシカを着て歩いてはいけないなんて誰れから聞いたんだ。

　俺たち同志を×[redacted]する手で當然の權利である正式裁判さへさせないんだ。○○新平よ！「お前達に社會の制度も何も解るかい」とあとで悪言を吐いたお前にこそ、一體何が解つてゐるつもりなのだ。×××××！寢言も休み〳〵言つたらいゝだらう。轉任したばかりで成績を上げたいからだと正面から言へ。喰ふ爲に仕方なしに犬になつたんだと何故言はぬ。勞働運動の勞も解らぬくせに社會がどうの、主義者がどうのと危い口をきくな小學校もそこ〳〵の不良少年で巡査上りの司法主任奴！俺は十一月五日に出たんだ。その爲めに折角同志が心配して世話して吳れた就職口がオヂヤンになつてしまつたのだ。

　その爲めに又俺は野良犬の樣に職を探して歩かねばならなくなつた。吾々を失職さす者が誰れであるか？全國の同志諸君？吾々はあくまでも此の××權はまる警察權の亂用前に押し進み、火花の散るタガネをもつて×××××をとらなければならない。

（笠井忠雄）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

世の中は人間の生活だ

正月三日、午後〇時十分、ラヂオ(大阪)放送に依つて、慶大學長林法學博士の光明は內より來ると題しての講演を、風邪の病床に在つて聽いた。講演の筋書は、物質より精神である、働けど働けど尙ほ貧乏であつても、俯仰天地に恥なければ樂しみ自ら其の中にあると云ふ、所謂唐人の寢言そのまゝであつた。しかも弁迂によりて、制度上一大革命を招來するやも計り難し大に憂慮すべきである。と云ふやうな意味であつた。

なる程水を呑み腕を枕とするも、樂しみ其の中にあるかも知れない、世の中がこうした思想の持主のみならば、博士の講演も要なく、世の所謂惡思想とやらも生れなかつたかも知れない、しかも世の中の人間は神様ではない、喰はずして生きて行ける者は、不幸にして一人もない、働けど働けど尙ほ生活苦を脫し得ぬのはそれは止を得ずとして諦めろ、と言ふ博士の御說は洵に資本主義社會の要求する根本精神であつて、僕等の最も不滿を感ずる點である。

牛は默々として働き、しかも人間の與ふる物を食して、默々として一生涯を終る、博士をして言はしむるならば、是れ實に牛は士君大なりと云ふてあろう、吾等は牛ならざるを不幸とするものである。

牛は自己の汗を流し、靑を絞りて働くと雖も、唯要求する處は空腹を訴ふるのみである、訴ふると言つても、唯これ使役する人間の想像によつて、如か思ひ食を與ふるにすぎぬのであつて、與へざれば彼れ默して喰はず、博士は吾等に牛たれ、牛はこれ聖君子と數へてゐるやうだ。牛は資本主義社會に於ける最適任の勞働者だ。光明は內より來る哉。

あゝこの博士ありて世は安泰、しかも時態、大衆は世の下積みとなりて一生を終へぬ。

吾等は言はん、人間社會は野獸の(所謂博士の)團體にあらず、然れども人間の生活は喰ふことを以て出發點としてゐる。故に經濟組織の統一を計り、人間社會をして衣食住の三つをして遺憾なく安固たらしめよ。

而して眞の人間味を語れ。

而して宗敎を語れ。

而して人間は野獸にあらずと述べよ。

而して言はん。勞働のどん底にうごめく勞働者の聲として「光明は內より來る」と聽きたきものである。博士の言としては値三文

白晝の公盗

つい二三日前のことだ。岐阜縣の某巡査部長ともあらうものが、隣家に闖入して、部下の巡査に捕へられた珍談がある。ブルジョア新聞は堂々初號みだし三ダン又キで報道してゐたが、苦笑のタネである。巡査部長の强盗は洒々然として、警察部長の訊問に對し、醉狂を理由にしてゐるが、盗人たけだけしいにも程がある。

僕らはこの巡査部長にいくたび劍つく食はされたか知れぬ。街頭で宣傳ビラを配布してゐた時、理解はおろか無理矢理本署に引き連れ、散々ドヤされて檢束されたことがある。大阪には官服のまゝスリを働いた巡査がある。彼等の非行は免官だけでスマされるものであらうか。國費で强盗の巡査部長を養なひ、同じくスリの巡査をいだした我國の警察界は、どの顏さげて國民の前に申譯が立つか？ 勞働運動者やその家族のものを罪人視し、常に苛酷な暴行をホシイまゝにする官憲の正體を白日に曝しだしてやれ。地方に於けるかゝる白晝の公盗は、地方人の誰しもが暴露して、泥人形の面皮をムイてやれ。僕らは無產者として正業に働く國家の原動力だ。僕らを苦しめる彼らの正體こそ、今こそアバイて力を見せてやれ(水谷勝一)

おどろ棒の執行員さん

ドロ幹左翼自稱革命主義政黨勞働農民黨の惡黨振りは天下の三歲の童子も知る事だが、その中で京都の本山で有名な闘士早川忠孝君のカクシ藝を紹介致します。彼はかつて京都本山が總同盟京都聯合會と云ふた時代、組合費横領費消故除名を受けんとした時惡運强く？某のお情で東京行を命ぜられて、その刑の執行を逃れしを當然と考へ、宿所たりし東京鐵工組合大崎支部の書物數冊時價十二圓及び組合員のレーンコート時價二十八圓をカッサラつて和歌山に來り、我が進め社の支局の人々が當時經營(大正十四年頃)し居たりし南海民衆新聞社に寄宿し、その紙の稿料を賴まれしを幸として同社の備付河上博士の唯物史觀の研究定價三圓及び共產黨宣言書一部、マルクス資本論定價八圓、その他數冊に同紙主筆大谷久次氏秘藏の短刀兼光を盗み、行掛けの駄賃に同志の靴一足を引掛けて京都の古巣に逃げ歸りし曲者なり。その事實歴然たるにかゝわらず京都ドロ幹本山では之れを京都無產青年同盟執行員長として、不良青年養成に努力せしめ、更に勞農黨京都支部聯合會に執行員として選擧し、彼の魔手をのばすを容易ならしめて居る。京都の兄弟諸君、ドロ棒執行員早川忠孝とその犯罪を認識し居りながら彼の存在を許すドロ幹を排擊せよ。彼等の如き惡德をタヽキ出し勞農黨を革正せよ(勝木万藏)

安茂里村々民に訴ふ

俺の村に軟餅會とかいふ、ドラ息子の寄り集る會がある。此の會の前身は白人會とかいつて中等學校の生徒と卒業生によつて成立されたものである。當時の首領は、實錢成金である寺の息子であつて、その亦規則は振つたものである。中等學校の生徒と其の學校出身者以外は絕對に入る事を許さなかつたのである。是れによつて見ても其の組織がどんなものであるかを窺ふ事が出來る。そして彼等は、勞働問題を論じ、農村問題云々と云つて、漸く目覺めんとする我々無產者を欺瞞せんとして來た。然しこれがブルヂョアの息子の一つの遊戯に過ぎず、これによつて我々の反抗を抑へんとする策に過ぎない事を知つた我々は、何時迄も欺瞞されはしない。我々は先づ第一に彼等反動を第二に階級戰の××に擧げなくてはならない。そして我等の運動を一歩々々進めて行く覺悟である。又進むのが當然である。熱血それて、熱情それで我等は進んで途上に障害するものをけとばして進む覺悟である。諸兄の應援と諸君の御健闘を祈り、戰線擴大に盡す事を誓ふ。

(長野在安茂里生)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

總督政治を曝露す

山梨新朝鮮總督の赴任ぶりを評す

布施辰治

私は、共産黨事件辯護のため、十二月十七日東京出發、二日間を辯論にあてゝ、同月廿四日に歸京しました。

同事件の公判經過に就ては、それが秘密法廷に於て行はれただけ、むしろ、より一そう忌憚なき法廷鬪爭が果敢に行はれえたので、報道すべき幾多の話材料が澤山あります。けれども、同事件に就ては、檢事の求刑さへも、記事掲載を禁止されたほど、我々民衆の言論の自由が極度に奪はれて居るのですから、こゝには、しばらく、その發表を中止しなければなりません。

が、これと一脈の密接な關聯を有する一つの出來事――即ち、山梨新朝鮮總督の赴任といふことに就ては、私の朝鮮行が彼の後を追つたやうな關係上、つぶさに之が實情を見聞しえたので、これを斷片的に報道してをきたいと思ひます。

×

軍閥の黑幕たる山梨新朝鮮總督の赴任ぶりは、すべての點に於て、新記錄を作つたものだと言はれて居ます。

私が、下關に着いた山梨新總督のための警戒に動員驅使されて居る人々から聞いたところによると――從來の新任總督の赴任する場合には必ず伊勢大廟を參拜して來たものだから、山梨新總督が十二月十七日朝に特急列車で東京を立つたと云ふ通知があつたゞけで、何時に下關に着くかは一般に公表せられて居らなかつた爲に、やはり伊勢大廟と桃山御陵とを參拜して來るものと思つて居つたところ、意外にも、一路下關に直行せられたので大變面喰はせられたが、この間には、何か日程をくらまさねばならぬやうな必要があつたのではないか、――と云ふことでした。

さらに、船中での話によれば――これまでの總督の赴任は、大てい夜の船だつたのに此度に限つて晝の船に乘られたのですがさればといつて京城着を急がれたわけではなく、途中釜山に一泊した。のみならず、朝七時半釜山發の臨時列車で、京城着を常設特急によるよりも二時間早め日沒前をえらばれた、といふことも大變意味深い用心ぶりです。それは、日本の土地を離れてからの夜を、何故にか怖れたからではないでせうか――といふことでした。

それだけではありません。山梨新總督の釜山着に際する警戒は、實に、言語を絶したる嚴重さで、沿十七、十八、十九の三驅逐艦が、臨時釜山に在つて、二百名の儀仗兵が整列警戒したさうです。

それを聞いた私が、一體何處からその驅逐艦が廻されたのか、又、朝鮮總督の赴任に儀仗兵などが附けらるべきものなのか、と質問したところ――驅逐艦の臨時釜山航は、誰れが命令したのか分らない好意の遊弋で、居合はした幸ひの儀仗警戒だ、といふ當局側の者の答へでした。だが、山梨といふ男は、決してそんな好運兒である筈はない。

さらに、憲兵警察官等の物々しい動員に就て、質問すると、彼等の返答は――警察官だけでは手薄であり、といふて、わざわざ軍隊を動かしては騷ぎが大きくなるので、所謂海軍好意の遊弋隊を儀仗警戒にあてたものだ、といふことでした。

×

かくして、新朝鮮總督の赴任に臨時列車を出さしたのは寺内以來此度の山梨總督が初めてだといふので、支配階級のおこぼれを求めて右往左往して居る連中が、寺内總督のやうに山梨總督も、總督から理大臣へ――などゝいふ阿諛を盛んにならべたて、所謂奉迎に殺倒したゝめ「京畿道告示――總督出迎人心得」なるものが發表せられ、總督府の承認を受けざる一般は乘車を拒絶せられたほどです。それによつても、種々の方面に於ける當局の過敏さがどれほど激しかつたか、といふことは容易に想像せらるゝと思ひます。

現に、山梨總督がいよいよ京城に着いた時の警戒ぶりは論外の沙汰で、齋藤前總督赴任の時の×××××、今さらの如く山梨總督をおびやかしたらしいのです。それは、反動的支配階級の一環としての彼が、如何に大きな×をその聯に持つてゐるか、と云ふ生きた證據ではないでせうか。

されば、警戒當局の神經は極度に昂奮しきつて、少しでも所謂赤色を帶びた者は、老若男女の區別もなく全部檢束拘留し、龍山の「七十八、七十九兩聯隊より各一ケ中隊づゝ騎砲工兵及び朝鮮步兵隊より一ケ小隊づゝ」をくり出し、さらに「大邱大田兩衛戍部隊より一部隊を驛に派遣」して恭々しくも歡迎したといふことです。

それは、山梨總督が、豫備役であつて、正式の儀仗兵が附けられぬところから、こゝにも彼等の所謂好意の歡迎としての臨時警戒をやつたわけなのですが、その警戒は、彼が、如何に被壓迫民衆の××の的になつて居るか、といふことを具體的に示したものに外なりますまい。

憲兵、警察官の官邸に至る

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

路上の猛警戒は言はずもがなです。

×

かうした軍隊の警戒によつて、所謂無事赴任した山梨新總督の赴任ぶりは、之を實見した者の感じから言へば、全く、××を率ひて朝鮮に侵入したといふ狀態です。

然り、あれだけの××持ち——あれだけ全民衆の××の的となつて居る陸軍大將山梨を起用した田中反動內閣は、事實上、全民衆の意志を踏みにじり、××を以て彼を朝鮮に××せしめたのです。

朝鮮總督府は、私が、この敵ふべからざる事實上、何等の空想も交へずに語ることさへ禁じました。そして、私の言說は、一切新聞紙に掲載させぬ、と云ひました。

彼等は、かくも、自らの××を民衆の前に曝露せらるゝことを怖れて居るのです。

三重にも五重にも、警官で憲兵で護衞されつゝ、渡鮮赴任した山梨總督は、今後地方を出步く際にも、日常生活の一擧一動にも、さらにさらに猛烈な××を忘れないことでせう。そして、この武裝の內に田中反動內閣の忠實な片腕として、益々朝鮮民衆を×××し、被壓迫朝鮮民衆の解放運動を根も葉も殘さずに××××××××××××。此度の彼の赴任ぶりは、彼のかうした將來を、明白に豫示して居るものである事を報告して、一般被壓迫民衆の監視を求めます。

總督政治の〇〇下に遂に擴大した沃溝小作爭議の眞相

金晃洋

最近朝鮮に於ける日本人經營の工場及び農場に勞働爭議、小作爭議が絕えず起りつゝある。斯うした場合××××××は實に言語同斷である。

これは果して何を意味するだらうか？資本主義の最後の段階——帝國主義ブルヂョアジーの植民地民に對する××××、××、それに對する被搾取——被壓迫大衆の反抗の聲だ、食はせろ!!働らかせろ!!の眞實の叫びだ。×れかゝつた資本主義に投げつけた××だ、喜べ諸君!!彼等は彼等自身がその××の淵に自分自ら陷ち入らんとする資本主義の哀れな姿だ。

茲に、一つ彼等に與へる鐵拳!!、しかも朝鮮貧農の積年の怨みを握つた×××××にまみれた鐵の拳が飛び出した。しかるにこの鐵拳!思つたよりも强く——今まで用いた小細工の、救濟だらけの、×××××××××××××××××では治まらなくなつたので、彼等も亦自分自らの正體を全人民の前に自ら曝露するに至つた、何んといふ醜い態だ。

青天白日の下に曝らされた彼等の正體を見る!!

全北沃溝郡瑞穗駐在所及臨陂驛前駐在所の兩駐在所に去る十一月廿五日の夜數百名の民衆が突然××し、巡查を亂打し、硝子を目茶〳〵にぶち壞し、民衆は喊聲を上げながら引上げた。

更に廿六日にも群山警察署に數百の民衆が殺到し全群山市街に××を起し此所彼所で小ぜり合が行はれ、警察丈けでは治まらず消防隊を總動員して群山府外まで追ひ出したが又群山に潛入しつゝある。

これに對して群山警察署では每日數多の官憲を動員して「人々」を見れば「檢束」、又檢束で實に言語同斷な××ぶりである。

現在幾十人檢束されてゐるか全く不明であるが。

今や全鮮民族の輿論はこゝに集中し、全民衆の資本魔及び××に對する不滿、反抗はその頂點に達してゐる。

◇

この××を起すに至つた原因は去る十一月廿八日午後八時頃瑞穗農民組合幹部張公郁氏が臨陂驛前駐在に檢束されるや、平常警察の橫暴に不平と反抗を抱いて居た附近の住民は隊を組んで同時刻後間もなく同駐在前に殺到し、警官に向つて口々に「檢束の理由を言へ」と迫つたが、元より何の理由もないから答へることが出來ず、遂に有耶無耶にて追歸さうとしたが之に激した民衆は容易に動かうとはしない、時間が經つに從つて民衆は益々多數となり、その數實に七八百餘名、その內何人かが、××××××××!!と叫ぶやたちまち物凄い亂鬪が初まり×××××して倒れるを見るや群衆は縛されてゐる張公郁氏を胴上げして、萬歲を叫び數聲を擧げつゝ意氣揚々と引あげた。が、歸つて見ると又々瑞穗農民組合の幹部朴相浩氏が檢束されてゐるを知つた民衆は憤激の極に達し直に瑞穗駐在所を××して「俺達の幹部を返せ」と大聲をあげながら駐在所に巡查を××して硝子窓に石を投げつけ遂に巡查は全部逃亡するに至つた、その駐在所に檢束されてゐた朴相浩氏を奪ひ取つて引き上げた。

この駐在所××のあつた當夜、群山警察署では直に十時發の列車で數十名の警官隊を現場に送り、更に自動車隊を急派し夜にかけて總檢束を初め廿六日、廿七日の明け方までに瑞穗農民組合幹部金容金張公郁、朴相浩氏等以下三十餘名を檢束した。

斯くと知つた民衆は幹部が總檢束された、廿六日の夜、群山警察署に數名が隊を組んで殺到し「農民組合の幹部を釋放しろ」「檢束の理由を言へ」と迫つたが、當局はこれに對して又もや警察は勿論、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

消防隊までも總動員して群山の府外まで無茶苦茶に追ひ出した。

而して廿七日午後三時頃再び約二百餘名の民衆が同署に押しよせて「檢束された人達は何の罪もないのだ」何の理由で檢束したのか」と、ほとんど捨鉢になつて動かない、「君達がそれ程檢束したかつたら俺達も全部檢束しろ」といひ出して容易に動かぬので警察でもいさゝか手を燒いて「直ぐ歸すから一先づ歸つて呉れ」といひながら一方から巡査を動員して府外まで無理矢理に民衆を引張つて行き遂に午後五時の列車で總瑞方面に歸した。

しかし歸つたものはその內僅に三四十名にすぎず、百五六十餘名の多くは今尚群山市街を徘徊し何時再び如何なる事が惹起するや知れず、爲めに一般市民は戰々恟々として不安の裡に一夜を明かしたが又も同夜檢束(二十八日の朝)まで約八十餘名に及んだ。

人を見れば〇〇!

「ウロタヘた群山警察署」

兩駐在所が××された後、現場に出動してゐる警察隊の××ぶりは言語同斷で「人さへ見れば檢束」するので沃溝一帶は全く戒嚴令でも布かれてゐるやうな有樣で、人心恟々としてゐる裡に十一月卅日までに所謂「見られた」檢束者が約五十餘名に達し、その後の檢束者數は全く不明であるが今尚沃溝一帶の警戒は嚴重で、ことに現場附近には多數の警官隊が居つて、近寄ることも出來ぬ狀態である。

檢束者に食を與へず!

「××の煽動責任者は××」

言語同斷な警察の失態

全北勞働組合聯盟代表、林劉氏が群山警察署、高等主任泉川警部を訪問して、檢束者に食を與へず、且つ又警察に殺到した群衆を消防隊などで驅逐した、非人間的な行動を質問したが何等の確答もせず、又組合幹部張公都氏を檢束した理由を聞いたが、これも又返答曖昧であるため、林劉氏は同主任に向つて「張公都氏を何等の罪名を明にせずして檢束したために民衆はそれに激憤して××を起したのであるから××騷擾直接責任は當局が負ふべきである」と痛論したが何一つ誠意的に答へることが出來ず結局有耶無耶に別れた。

現狀に急行した各團體代表者に退去命令!!

「高壓的な警察の態度」

この事件が發生すると同時に群山の各社會團體では緊急委員會を開いて代表者を派遣することに決し金川氏外三名を現場に出張せしめた所、群山警察署では退去命令狀を發して現場に入れない爲めに、その理由を高等係主任を訪問して質問したが、何等の確答を與へずして絶對に現場に入ることを許さなかつた。

飢餓に泣く百餘の家族街頭に彷徨悲慘な狀況を見るに忍びず靑年會が同情金募集を始めたが

これも又禁止!!

檢束された人々の中で極貧者約三十餘名はその日〳〵手足が氷つくやうな勞働をして家族の露命をつないで來たが、働き手を奪はれた家族は飢餓に瀕し、餓死を待つばかりの情況は見るに忍びず、群山靑年會では同情金募集をしようとしたが警察の干涉で結局同情金募集をも一切禁止された。

それのみでなく更に家族大會をも「治安を害するおそれあり」といふ口實で禁止したので一般の非難は益々昂まりつゝある。

事件の發端

事件の內容は二農場(日本人經營)の小作料が普通より二、三割高いといふので從來でも七、八割の小作料は高すぎると、世論が昂まつて來たにも係はらず、又例年は小作料制定の場合は必ず小作人立會の上兩方共諒解の上定めて來たが今年は横暴にも小作人の立會を求めず、農場側だけで勝手に定め、これを極秘に付して秋收が終るまで何等の通知もよこさず、年の暮の押し迫つた今になつて突然小作料納入通知狀を送つて來たのだ、平均七割以上で甚だしいのは九割位なものも少くなかつた。

それで瑞穗農民組合では再三代表を送つて交涉したが遂に破談し、小作人側ではこれに對して小作料を減らすまで不納するとの意味の通知書を農場主に發送し、小作料不納同盟を組織して一切の對策をこゝで研究することにした。

しかるに地主側では小作料不納同盟の通知に對して何等の回答もせず、農場の土地に住んでゐる者に對しては家をあけ渡して歸れと威脅したり、或は又他の小作人に對しては來年から小作水田を多く與へ、家も建てゝやるから小作料を納めろと盛んに懷柔策を以て撲滅しようとして少しも讓步しないので瑞穗農民組合は十一月廿六日に臨時總會を開き對策を講究の爲めの準備を進めて居たが、突如廿四日群山署から呼出狀が來て幹部張公都が出頭した所、いろ〳〵注意した上歸宅を許したにも係はらず、その翌日即ち二十五日の夜臨檢驛前駐在所平石巡査(日本人)が來て又張公都氏を檢束しようとし組合員が檢束の理由を聞いたが何等確答を與へずして引張つて行つてしまつた。

小作爭議が起つて以來附近

の人々は地主側の處置に對して極度に憤慨してゐた時であつたので『檢束者を奪ひ返せ』といふ聲を何處からともなく叫び出し「チン」（朝鮮特有のもので農民樂器の一種、銅鑼のやうな音に似てゐる）を亂打しながら遂に駐在所を襲撃するに至つた。

即ち駐在所××の導火線は張氏を不當檢束した事が最大の原因であつた。

事件發端の根本原因もう一ツ

「理由なくして小作權移動」
「親疎につれ小作料制定」
これが不平爆發の最初の動機

同事件の發生した最初の原因は前記二葉農場が昨年川崎某から約五百町歩の土地を買收して、そこに農場を設けその土地の關係者、即ち小作人が約五百名に達して居たのを今春小作權を定める時同農場の事務員洪涼英及び村長朴附名が前年の小作人の中で少しの過失もない瑞穗里の崔永漢外數十名の小作權を奪ひ彼等の友人又親舊にその小作權を與へ、更に秋收期に入つて同農場の事務員日本人某他前記洪、崔、の三名が小作料を檢定する時も小作人等の立合も求めず、こつそり勝手に步き回り自分等の友人や親類の小作者に對しては例年より特に安くし農民組合員、其他の分は格段に高く甚だしきは八割以上九割のもの少くなかつた。つまり安くした方の穴埋めをやつた上又より多く搾取しようとした、實に虫のいゝ事からであつた。

斯の如く働く者を餓死のドン底に突き落さんとする彼等の殘忍な陰謀――不公平極まる彼等の處置に對して働く者の生きんが爲めに闘つた!!闘ひの中心――齒輪の心棒――幹部を奪ばはれた彼等!!總てを奪ばはれた朝鮮の貧農!!斯うした場合彼等の採るべき××××××××××××××××××?

更に東亞日報の報導に依ると十二月八日の午前から午後にかけて檢擧者五十一名「騒擾及拘禁〆察取罪」といふ名目で群山檢事局に一件書類と共に送局された（東亞日報から）

全日本の同志諸君!!

諸君等は雪氷る北鮮の一寒村に起つたこの勇敢な朝鮮貧農の血にまみれた戰ひを如何に見る?

全日本の同志諸君!!

我々（弱小民族に加へられる一切の暴壓は諸君に依つてのみ戰ひつぶせられるのだ。

諸君は×××××××××××××××××××民衆に對する一切の暴壓を斷じて許すな。

一九二七、一二、一

對立理論に就いて
一小考

城木春雄

最近雜誌「勞農」出現以來、「勞農」派は矛を新たにして、雜誌「マルクス主義」一派に向つて闘ひを宣言した。それは「統一闘戰の問題及び指導理論」に關する異義である。

統一戰線の問題に就いては、マルクス主義派同人に於ても、その誤謬を認容し、宗派的傾向とする「勞農」派の詰問に對して「戰術の硬化」であつたその結果である。としてゐるが、併し、これにも「勞農」派にはなほ多くの詰問點が殘されてゐる樣である。私は、この問題に深く入ることを避けて、その指導理論の點に簡單な批評を試みたいと思ふ。

先づ、マルクス主義派の言ふ、無•產•階•級•的•決定要素たる「マルクス主義」の分解をなすであらう。マルクス主義派松村徹也氏は言はれる。

「勞農黨それ自體は、勞働者、農民、小市民の自然生長的政治要求によつて結合せる黨である」

「勞農黨それ自體においては、從つて勞働者は無產階級的たり得ない」

「勞農黨に對してマルクス的要素の働きかけが開始せられ、各階級の反抗が利用され、指導されることによつて、勞働者農民の共同は階級的協同戰線黨たり得るのであり、また、しかるものとして發展し得るのである」

この場合に於けるマルクス主義要素とは、全く觀念的なものになり終つて、またその觀念的なマルクス主義のみが無產階級を無產階級的たらしめ得るとするところに特點がある」從つて、各階級の反抗が利用され、指導される」ことの意義を階級闘爭の實踐の中に見出し得ずして、觀念的思考の中に發見するの愚をなす所以である。これを駁して「勞農」派の高杉氏は言ふ。

「此等は當面の運動の發展段階において獨自の役割を演ずる階級的指導勢力の成員としてのみ、マルクス的要素たり得る所以を知らず、各人の有する概念的に考へられたるマルキシズムの思想の統一の故にマルクス的要素たり得るとなすのである」

而し、更に一歩を進める。

黨の「階級的協同戰線黨」への發展段階に就いて、高杉氏の解樣は、「左翼の意識」活動それによつて大衆的闘爭は展開され、勞農黨の結成をも見るに至つたのである」といふに對抗して、松村氏は「勞農黨に對してマルクス的要素の働きかけが開始せられ、各階級の反抗が利用され、指導

（八頁下段へ續く）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人及幼年勞働者の夜業禁止請願運動

日本紡織勞働組合　神谷[illegible]郎

夜業禁止案は大正八年のワシントンに開かれたる第一回國際勞働會議に於て採擇せる條約案であつて、同會議には、政府代表鎌田榮吉氏 資本家代表 武藤山治氏も出席し、共に贊意し來れるものである

爾來四年を經て、大正十二年、政府は右の條約案に基き、夜業禁止を含める改正工場法の制定をなすに至つたが、其附則に依れば同法は施行後尚三ケ年の實施猶豫を設けてゐるのである。

然るに右改正工場法は、制定後滿四ケ年を經たる今日に於いて、未だ施行令の發布を見ざる有樣である。

深夜業の弊害は、政府も資本家も共に認むる處であるにもかゝはらず、今日尚かくの如くである。先きに同法が制定されんとするや紡績聯合會は、即時實施に反對をなして、其際に於ける紡績聯合會の論據は、即時實施による生產率の低下は約四百万錘の機械増設を必要とするのであつて右増設を完成するには今後三ケ年を要すると云ふに在る。

然るに當時既に彼等は、四百万錘の機械を海外に注文せる事實あるのみならず、大正十三年末に於ける實際運轉錘は十二年當時より増加すること、優に四百万錘を突破して居るのであつて、今日では、三ケ月の實施猶豫に對する論據は既に消滅せるものである。

されば同法附則全文を削除し、多數の婦女子幼年工をして夜業の弊害より救ふべきは當然である。

然し乍ら我等が夜業禁止を力說するの理由は單に是のみではなく、左に述べるが如く、尚幾つかの社會的根據がある。

第一　保健上より見たる夜業の弊害

第二　風紀頽操と夜業禁止

第三　夜業の必然の結果としての寄宿舍制度の弊害

第四　國家產業の上より見たる夜業禁止、

等である。

農商務省の發表せる某紡績會社の女工八十一人に就いて調査する處に依れば、夜業七日間にして體重百七十匁の減少を來し、晝業六日にして六十九匁を增加し、結局百匁は回復せざるものとなつてゐる。

此の一例に依つて見ても如何に夜業が幼年婦女子の體を害ふかを知ることが出來る。而して此の結果結核病、消化器病、不妊症其他の恐るべき疾病を來たすのである。

石原博士の算定に依れば、是れがため一ケ年の間に女工千人につき二十三人の割合を以て死亡するのである。即ち我國現在の婦人勞働者八十五万七千中より年々一万九千五百五十人以上の死亡者を出して居る譯である。不妊症に至つては、某大工場醫師の推定に依つて見るに千人に對して百人の割合を以て侵されてゐる。

尚又夜業中に於いて疲勞の爲め注意力が衰へる結果多くの思はざる負傷をなさしめることは統計上歷然たる事實である。

男女工八千人を有する工場に於いて、二十三ケ月間に負傷せる勞働者は、一千五百七十二人を數へる。(協調會調査、)午前六時より午後五時に至る、各時間中の百分比負傷を見るに午後に入つて二・七より五・八に進み、最高率時間午後二時には一〇・三に及んで居るのである。

大正十三年末に於ける我國婦人工場勞働者は八十五万七千九百三十人、其年齡は十五歲以上二十歲未滿最も多く、十二歲以上十五歲未滿の女工、十一万五千八百一人を數へる、(社會局調査)之等の全部は、夜業の最も多き纖維工場に働らき殊に夜業の主たる紡績工場に於ける婦人勞働者は十八万四千百七十八人を示すのである。

全國の同志諸君よ、この事實を果して默視し得るであらうか。冷然たることが出來ようか。諸君の愛する我國社會の中にかゝる不正義、非人道が行はれつゝあることに對して榮光を感ずるか。

我が日本紡織勞働組合は、年々議會開會毎にあらゆる社會事業團體、勞働團體と協力し、街頭署名に演說會に、多くの贊成者を得て議會に迫つたのである。昨年末も、日本勞農黨及全國婦人同盟と共力し、日本勞農黨の提唱せる、三運動(徹底普選獲得、生活權擁護、既成議會彈劾)の一運動として婦人解放デーの名の下に「工場婦人の夜業禁止」、「婦人の坑內勞働禁止」寄宿舍制度の撤廢」「公娼私娼の廢止」「婦人參政權獲得」、「母性保護法の制定」の猛運動を起したのである。

暗憺たる生活の中に光明を望み、進歩と向上とを希ふ全國の同志諸君よ！ 我等の運動を援助せられんことを希ふ。

反動に倒れた同志を憶ふ

權赤雷

衝天の憤恨を懷いて
反動に倒れた若き同志よ！
口を開けば熱火を吐くが如く
一度接すれば魅力は
燎原の火の如し
不屈不撓
白熱的に闘へるが
無慘にも××××××××
若き同志よ！
安らかに眠れ！
我等あればこそだ
矛盾だらけの
資本主義社會制度は
×××直面し
急轉直下的に
斷末魔にて×××
若き同志よ、
最後の××も空しく
しづみ行く夕陽落照と共に
暮れ行く
吊鐘地球の中央にて
高く鳴る
若き同志よ！
無產階級の新興勢力は
旭日昇天の勢にて
全世界を風靡す
若き同志よ！
我等の理想的社會は
近づきつゝあり
此れを思ひ思へば
哀躍歡喜！
此れ堪へず！
同志よ
さらば安らかに眠れ
一九二八、一、九、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働運動講座

國際勞働運動（五）

淺野研眞

第六章　共同戰線と諸流派

一、序說

一九一四年の世界大戰の勃發により、インタナショナルの運動は、一時は少くとも表面的に消滅し終つて、僅かに二三の中立國の人達によつて持續されてゐたのみの如くであつた。

而して一九一五年のチムメルワルド會議以後は、全く混亂し、一九一七年のロシア革命の結果として、一九一九年三月に至り、始めてモスクワに第三インタナショナルの名稱の下に復活し來つたのであつた。

然るに死滅した筈の第二インタナショナルも、その殘黨を集めて、同じき年に復活した。

然るに、第二インタの左翼は、一九二一年二月に至つてウインに會合を開き、新らしき運動を開始した。この運動の色彩は、第二と第三との中間にあつた故、第三インタナショナル側では、之を評して第二半インタナショナルと名稱した。

而して此等の三つのインタナショナルが、一九二二年四月に至り、所謂共同戰線を提唱し、そのため會合を開いたが、結局は物分れとなつてその努力は所謂徒勞だつた。

然し、第二と第二半とは、やがて合同した。

尙ほ一九二一年十月には、アナーキスト系の第四インタナショナルが組織された。また此等の社會黨の運動に對比して、勞働組合運動のインタナショナルも次第に隆盛を見せて來た。卽ち其は、主としてアムステルダム派の改良主義的運動と、モスクワ派の革命主義的運動との兩者によつて代表されてゐる。

以下若干は此等の諸流派、並に共同戰線運動の概觀を試みるであらう。

二、第二インタの復活（一九一九年二月）

一九一四年八月末に、第二インタナショナルの大會は、インタナショナル創立五十周年記念を兼ね、ウインに開かるべきであつたが、大戰の勢力に壓倒されて殆ど爲す所なかつた。茲に於てか、第二インタナショナルは實質的に死滅したとされたのであつた。

然るにその右翼は、一九一五年には、コペンハーゲン、倫敦、ウインなどに於て、また一九一六年にはベルヌに於て、臨時會議を開いてゐた。

かくて一九一九年二月、卽ち第三インタナショナル成立大會の丁度一ケ月前に至り、瑞西のベルヌに於て、舊第二インタナショナルの右翼及び中央派の人々が集まつて、第二インタナショナルの復活を策した。之に集まつたものは、二十六ケ國の代表者、一〇二名であつた。

開會第一日（三月三日）には、戰爭責任のなすり合ひをしたが、それは當時既に亡びた舊ドイツ官僚が負ふべきものとせられ、獨逸社會民主黨は今日は斯かるものと絶緣したから、その責に負ふの要なしと云ふことで、事は落着した。またロシア共產黨に對する態度が問題となつたが、之に就ては民主主義の原則に反する同黨を非難し、之を敵として戰ふべしと主張する者と未だロシアの實情が不詳なる今日、輕々に之を非難するの非を說く者とがあつた。採決の結果としては、後說が勝を占めた。そして此の大會は、第二インタナショナルの復活を決議し、規約綱領の起草委員を選任した。

尙ほ此の年四月のアムステルダム會議、同八月のルスルヌ會議は、その復活のために開かれた臨時會議として、その役割を演じた。

次いで一九二〇年二月二日以後、復活した第二インタナショナルは、ジュネーブに大會を開いた。そして新らしい規約と綱領とを定めた。そして此の大會の決議は、民主主義を高調し、且つ社會化は實行不可能なる產業より漸次に且つ有償に實行せらるべきものであると述べた。

三、第二個半インタの成立（一九二一年二月）

一九一九年二月、第二インタナショナルのベルヌ大會に於て、對共產黨問題に關して意見の分れたことは、前述の如くであつたが、此の時、その中での左翼派を以て任じた墺太利のアドラーや、フランスのロンゲー等は、獨英其他二三の國の少數派と共に、一九二一年二月、ウインに會して、第二インタナショナルより脫退し、別に新らしいインタナショナルを創設することを企てた。

かくして生れ出たのが、第二個半インタナショナルである。尤も彼等自らは「ウイン聯合」と稱したが、第二インタナショナルと第三インタナショナルとの中間の色彩のものであつたが故に、主として第三インタ側からして、半ば冷かし的に、第二個半と呼ばるるに至つた。

その主義は、プロレタリア獨裁にも、また社會民主主義にも、その何れの一方にも偏執しないで、各國の國情に應じて適當なるものを採用すべ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

しと云ふにあつた。

四、共同戰線の提唱（一九二二年四月）

かくして其れ〴〵色彩を異にするインタナショナルが三つ出來たわけである。

しかるに、中間派の第二個半インタナショナルは、プロレタリア解放戰線が、三つに分裂してゐるのは甚だ不利であるとして、自ら第二及第三インタナショナルの仲介者となつて、その接近を企圖した。これ即ち『共同戰線』運動の起りである。

その結果として、この三つのインタナショナルの代表者が、一九二二年四月、伯林に相會した。來會者の主なるものは、左の如くであつた。

第一インタ側――ラムゼイ・マクドナルド、トム・ショウ（英）エミール・バンデルベルト（白）ツエレテリ（ゲオルギア）其他。

第二個半インタ側――ジヤン・ロンゲー（佛）、フリードリッヒ・アドラー（墺）、其他。

第三インタ側――クララ・ツエトキン（獨）、片山潜（日本）、ブハーリン、ラデック（露）其他。

この會議は、四月二日（日曜）に開かれ、三日は休會、四日、五日は開會、都合三日間の開期であつた。

會議の結果は、根本的に立場を異にする第二及第三の合同を企てる事は、結局、不可能であることが知られた。唯だ當面の防禦戰に於て、かくて、相提携し得るか否かと云ふことが協議せられたのみで、結局この會議を終つた。

その結果として、かかる提携を進めるために、各々のインタナショナルから三名宛、合計九名より成る委員會が設けられた。

しかし此の委員會は、その年の五月末、再び伯林に會したが、此時には相互に全く妥協の餘地なきことを知り、共に誠意のなき事を痛罵した言辭を發して、遂に全く物別れとなつてしまつた。

かくしてインタナショナルの共同戰線の運動は、全く失敗に終つたのであつた。

五、第二及び第二個半インタの合併（一九二三年五月）

共同戰線は終に物別れとなつたが、その後、一九二三年五月に至つて、第二インタと第二個半インタとは、合併して新たに『社會主義者及び勞働者インタナショナル』となつた。第二個半は、かくて終に第三インタに行かずして、その母體たりし第二インタに合併したのである。今日、吾々が第二インタと呼ぶのは、この合同體のことである。

かくて茲に再び、第二と第三との兩インタナショナルの對立となつたのである。前者は改良主義を標榜し、後者は革命主義を提唱してゐる。而して此の兩者が、今日のインタナショナルの運動の主潮を代表してゐるのである。

六、第四インタの成立（一九二二年十月）

一九二一年十月に至つて、伯林に相會した無政府主義者の一派は、第四インタナショナルなるものを創立し、他のインタナショナルに抗せんとしたが、これは名稱に把はれたのみで、殆ど有名無實のものとなつた。

七、勞働組合のインタナショナル

第一インタナショナルは、前にも述べた如く、その内に、勞働政黨と勞働組合とを共に包含してゐた。しかるに第二インタナショナルは、勞働政黨の色彩が勝つてゐた。

また第三インタナショナルの如きは、尚ほ更ら政黨的である。

かくて分化的になり來つたプロレタリア運動は、政黨運動と併立して、別動體として勞働組合プロパーのインタナショナルを生み出した。

即ち歐洲大戰後、この傾向は遂に實踐化されて、一九一九年七月アムステルダムに於て、アムステルダム派勞働組合インタナショナル（所謂黄色）が成立した。

次いで一九二〇年七月には、モスクワに於て、モスクワ派勞働組合インタナショナル、（所謂赤色）が成立した。

云ふまでもなく、前者は第二インタと、後者は第三インタと、それ〴〵行動綱領を共にしてゐる。

尚ほ此の外に、サンヂカリストのインタナショナル（一九二一年六月、伯林に成立）やキリスト教勞働組合インタナショナルなどの如きものもあるが、到底前二者に比すべき程のものではない。

また一九二〇年八月、パッソウに於て、緑色インタナショナルなるものが創立された。これは前記の赤色、黄色などに對立して思ひ着いたものの如くであつて、農民のインタナショナルであるが、これも大したものではない。

八、結言

以上大體に於て、吾々は、インタナショナルの諸運動を、その史的跡づけに依つて、考察することを得たと思ふ。

吾々の見て來た如く、如何にも其は、波瀾多き航海であり、曲折多き旅路であつた。而も前途運動のイデーに燃ゆる吾等の鬪士は、如何にその難き困苦を克服し來りしことぞ！

されど、インタナショナル史上、帝國主義國際戰爭が、如何にも明白に、プロレタリアの國際的團結を破つたことを吾々は忘れてはならない。吾々はイデオロギーの世界に於ける把握を彈固にせねばならない。

民族鬪爭と階級鬪爭!!

この認識の缺如が如何に無自覺大衆の反動的錯誤と、ブルジョアジーの反動的逆用政策と、小兒的分派主義者とによつて混亂されて來つたことか？

我々をして歌はしめよ！

『隊伍を結べ、然らば明日　インタナショナルは、人類を團結するだらう』（完結）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め社だより

◆進め社が日本勞農黨を支持する事になつたのは昨秋からであるが最近高知、和歌山、大阪、島根、米子、大津、今市、濱田、岐阜、名古屋、彦根、京都、長野の各支局も日勞黨支持を聲明した、これで進め社は大體に於て、日勞黨となつた別事を聲明する。まだ地方支局ではつきりしない所があるが熟慮せられて日勞黨へ入黨されん事を希望する。

◆我が日本勞農黨は結黨以來無産階級の合同結合を目標として進んで居る、則ち日本無産運動の正道を進んで居る、今日大を爲せる所以も又玆にある。

◆今回同人に多少の異動があつた、又執筆者も多少變つて來た、則ち臥生、三輪、平野學月、河野氏等が執筆する事になつた。

◆進め社は日勞黨を支持する事を發表しても進め社の創立精神を守つて居る、日勞結黨の精神と等しいから日勞支持するに到つたのである、進め社同人は悉く無産階級の前衛隊であり、雜誌は全無産階級の機關である事は變る所はない、全土の兄弟姉妹よ、吾が進め社を支持せよ、又日本勞農黨に入黨せよ。(福田)

◆嵐か風か、愈々議會開會は迫つた。

◆資本の情勢は全く窮迫の狀態に陷り、無産階級は、益々生活の不安におびやかされて來る。

◆恰度、この期を以つて議會は解散?せらるゝ、我が進め社福田氏が島根縣第一區より日勞黨候補として出馬する、愈々我が進め社同人奮闘の期は近づいた。

◆起て、進め讀者諸君、起つて無産階級の新体を意義あらしめよ。(佐藤)

◆嵐の如く湧き起つた、福本イズムのため四分五裂に裂きちぎられた、我國の無産運動も、一九二八年に至つて、對立闘爭によつて鍛へた鋭い理論刀を作つて、統一の舞臺に上らんとしてゐる。

◆混亂しきつた社會運動の中にあつて、明星の如く燦として輝き、其の指導任務を遂行して來た「進め」は、三十數回の發賣禁止にも屈せず、猛烈な闘爭を續けて來た。

◆現在社會運動の中堅となつて戰つてゐる人々の其の大半は、進め社の讀者カードに一度は記載せられた人である。從來多くの闘士を送り出した進めは、今後も若き闘士の養成に努力するであらう。我等の理想郷に到達した時、進め社の讀者カードを開く人にとつては、感慨無量の念を湧かさねばおかないであらう(上杉)

◆わしは一九二七年の終りが押し迫つた頃、大阪の事務所から、はるばるお上りさんに混つて東京にやつて來た。

一月號で報告した如く進め社は現在の所に移轉した、まづその位置を告げよう裏は反動の親分小川平吉、向ひは福本イズムの追隨者××××、其の中央に吾が進め社は毅然として位いし、同人一同と共に意氣益々熾んなり。(赤尾)

特に編輯上に就いて

◆五十四議會解散が迫つたので、編輯事務も隨分多忙だつた。書く約束をした諸君も毎日東西にかけ廻つてゐるので原稿を貰ふ事が出來なかつた。しかし、今月は可成り充實した力強いものである事を誇りたい。淺沼氏、大木氏、南條氏、神谷氏等の諸氏は日本勞農黨の淨々たる闘士である事はこゝに附言する必要もあるまい。

◆來月號は總選擧の眞最中に發行する事となつてゐる。全國に亙つて本社は連絡を取り選擧日誌、實際談、暴壓等を掲載して大いに士氣を鼓舞する考へである。進め讀者諸氏の活潑なる投書を望む。

◆大阪事務所では研究會を開催するから大阪附近の同志の御參集を望む。

◆東京においても移轉して大變便利がよくなつたから、研究會を開く事になつたが、何分時機が時機で戰場の樣だから、總選擧が終り次第やる。(神庭)

同人赤尾君の入營

◆我が同志、赤尾喜徳君が松本第五十聯隊へ入營することになつた。それも初めから行くといふことにきまつてをれば、さして嫌といふ譯でもなかつたが、今頃になつて引張られるのは、××へ行く樣な感じがして嫌なものだ。

◆一月二十四日、進め社本部に同志が會合して、送別のためいさゝかの宴を催した。ヤカンに酒のカンをして、牛肉のゴツタ煮をかぢりながら……

◆快談放論、たまたま××と軍隊との比較論、つまり、どちらが苦しいかといふ論に花が咲いた。「監獄が苦しい」否「監獄は本が讀めるから軍隊よりはよい」等、結局はその結論なくして終つた。

◆恰度その日は、福田氏が無産代議士候補として島根へ乘込む前日だつたので、大いに氣勢があがり、話はその方が「必勝疑なし」といふ結論を得、赤尾君は、それを土産に同夜松本聯隊に向けて旅立つた。

◆我が同志、赤尾喜徳君よ、健在なれ。

無産階級を代表し 福田氏立候補す

◆恰度編輯が終つた日、議會解散といふ騷ぎだ。豫期してゐたことだから別にあはてはしないが、それでも、頬や、腕の筋肉がピリツと動いた。いよいよこれからだぞといふ胸さはぎをおぼえた。

◆福田氏は、日勞黨公認候補として島根縣第一區より馬を進める事になつてゐたので、解散の號外を手にするや、我が社はサツト一脈のざはめきをみせた。

◆「愈々無産階級が政治的進出の第一歩を踏みしめる日が來た」と福田氏は氣焰萬丈、美髯をなでたり動かしたり、そして曰く「俺はこの髯で勝つてみせる」

◆解散!! の報全國に飛ぶや、我が進め社支局、二百七十二局よりは、電報霰の如く、忽ち福田氏候補の推薦を決定し、その前途を祝福した。

◆我が進め社同志諸君――多年の我等の望み來つた無産階級の政治的戰線は、將に火蓋を切つて放たれんとしてゐる。而も、多年我等の敬愛する福田狂二氏は、我が進め社を代表し、否全無産階級を代表して、雄々しくも戰線の前頭に駒を進めんとしてゐる。そして諸君の應援とその歡聲は、必ずや氏をして最も勇敢に闘はしめ得るであらう。

◆我が進め社十万の同志諸君、我等は叫びを合して、福田氏のため、全無産階級のため、萬歲をしやうではないか。

福田狂二氏萬歲
我が進め社萬歲
全無産階級萬歲

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

創作

勞働者の代表

吉田金重

——まあ、あんたはほんとうに健さんぢやのう、どうしなさつた？

從妹は秋の日も暮れかゝつた、薄暗い上り口に私の變つた姿を見上げ、見下しながらさもあつけにとられたやう。それはその筈、彼女が母の留守の間に私の家に來て、臺所の面倒を見てくれたのはもう五六年も昔。私はしかしせきくる感情をためながら、どこまでも平靜だ。

——いや、實はこちらの御主人が、○紡績會社の方へ出入りしていらつしやるとかで、都合で一つお骨折りをして戴きたいと思つて上つたやうな譯で。

從妹は當惑さう、俯向きながらもじ〳〵してゐたが、それでも

——妾し詳しいことは聞いとらんのぢやが、H村の從兄さんが昨日だつたかおいでゝ、うちの人になんちややらそんなことをいふてゐてぢやつたやうぢやが……まあそれはそれとして、こちらへお上んなさらんか……

とすゝめる。鍛冶工場からであらう？ 裏の方からチンカン〳〵、ゴーシ〳〵といふ音が絶えず聞えて來る。そこにはたしかに、私はまだ會つたことはないが從妹の婿や、その弟子になつてゐるとかの從弟なども働いてゐるのだらう。私は幸か不幸か、そこまで豫測することは出來ないが、いつの間にか一家の主婦として姙娠さへしてゐる、昔の許嫁を他人の中に見出して、輕い溜息を吐いた。

姉婿の從弟であり、從妹婿の家の臺所ではその夜、私のために小宴が催された。一坐には從妹婿夫婦はもとより、從妹婿の年老つた兩親や郵便局へ勤めてゐるとかのその妹、從弟まで加はつて、一家團欒の賑はしさであつた。牛肉は白い湯氣をたゆたはせながら、食慾を唆るかのやうにチク〳〵煮えた。最初は如何にも愼ましやかであつた私も、盃を重ねるに随つて胸襟を開いて語つた。未だ少年上りの從弟はにこ〳〵、譯もなく嬉しさうに私の顔を眺めた。また、從妹は一二杯の酒に顔を眞つ紅に染め、いつの間に習ひ覺えたかとも思はれる手つぎに、長煙管に煙草を詰めてスパ〳〵喫かしながら、私が上京してからこのかたの始終を、くど〳〵しくはあつたが親しさうに訊いた。

——健さんが○紡績にでも勤められるやうになれや、伯母さんはどれくらゐ喜んでか知れやしない……

それが巧く運ぶか、どうかをたしかめるやう、從妹は夫の顔をちらり窃見した。從妹婿は頷きながら、節くれ立つた手に盃をとり上げ、グイと一口に飲みほして私にくれながら、さも自信あるものゝやう。

——なーに大丈夫ぢや。人事部の橋浦さんは分つた人ぢやからな。何しろ縣下の勞働者の代表にまで推選された人ぢやもん。學問はあるし、苦勞はしなさつてるしな……

——橋浦といふ人は、○紡績會社の人事部にゐるのでしたね……

私は古傷にでも觸られたやう、あるむづ痒さを覺えた。そしてなぜとも知らず、行方を塞がれたやう、ある壓迫を感じた。しかし、從妹婿はひとりで合點した。

——さうですよ。○紡績會社でも信任のある人ぢやでね、巧くとり入るとえゝさうぢや……事務員の方に口がなかつたら、職工にでも、なるんぢやなさうしてそのうちに事務員に引き上げて貰ふやうにするんぢやな。

——それや、僕としてはどつちでも宜しい、雇つて貰へるなら職工でも。しかしそれほど、橋浦といふ人は○紡績會社に信任があるのですか？

——それやさうですがな、勞働者の代表にまで推選される人ぢやもん、大したもんぢや、縣の何萬といふ勞働者を代表して、ことによつたら日本全國の勞働者を代表して、國際勞働會議とかへ出かけられる人ぢやでな。

私はそれに答へず、盃を口にしたまゝ、從妹婿の顔を見やつた。そして私は誰が勞働者の代表として推選したのか、まづそれを訊かうとしたが、なぜか無意味なやうな氣がしてやめてしまつた。いや、それよりも私はたゞの暫らくでもさうしたことに耳を閉ぢ、眼を瞑つて働かなければならない運命を背負はされてゐるのだ。老ひた母の心を慰め、身を養ふにはこれよりほかはないのだ。曾て老ひの母を華やかならしめやうと夢みて上京した私は、そこにたとへ必然な理由があつたにせよ、かへつて悲慘のどん底に陥れてゐるではないか。まつたく老ひた母は今や、小作人としてその日〳〵の糧に苦しまないまでも、赤貧あらうたとへの如き姉婿の家のかゝり人として、私の歸郷を首を長くして待つてゐたのである。だがたま〳〵歸郷した私は勞働運動者として、ストライキの首謀者として、煽動者として、何々ストとしての兇状？をもち、どこの勞働市場にも雇つてくれなければ、よし雇はれたとしても影の形に添ふ如き官權の干渉によつて、たゞの暫らくも落ち着くことの出來ない人間になつてゐたのだ。それをしも知つてか、知らないでか姉婿は

自分の從弟であり、私にとつても從妹婿であるこの家の主人に、事情を打ち明け依賴してくれたのである。私は最初、たとへそれが從妹であるにせよ、曾て許嫁であつた女の婿の前に、頭を下げなければならない自分を意久地なくも考へたが、しかし今はそれさへ顧慮してはゐられなかつた。老ひた母のためにすべてを忍ばう――と、私は決心したのである。

――健さん、あんたが○紡績會社へお勤めるやうになられたら、妾しえゝお嫁さんを世話しますぜ、えゝお嫁さんをな……

だしぬけに頓狂な聲をあげながら、やゝ白けかゝらうとした一座に活氣をつけたのは老主婦である。從妹婿は、老主人とも〲和しながら、候補者について穿鑿までした。年若い從弟と、從妹婿の妹とはそれが遠い世界のことでもあるかのやう、顏を見合せながら笑ひ轉げた。ひとり從妹は淋しさうに俯向きながら、それについては一言もしなかつた。

○紡績會社によつてその存在の意義があるかのやう――いや、少くともその餘澤を蒙つてゐる人達は考へてゐるであらうK町は、東西に貫くS鐵道によつて二分されてゐる。○紡績會社の工場はその北半に翼を展げた如く、伸び展がつてゐるばかりではなく南半の樞要の地は、ほとんど○紡績會社の倉庫、商取引所といつたやうなものによつて占領されてゐるのである。日本の大資本集注の典型は、このK町の○紡績會社によつて遺憾なく表現されてゐるといつてもいゝのである。それにしてはK町に在住する土着の人達はあまりに封建的であり、あまりに純朴であり過ぎはしないか。近き將來に於て夢に夢みる如く、この大資本の口中に併呑されてしまふ運命を背負はされてゐるのではあるまいか、しかもそれをかへつて喜ぶかのやう。しかし大資本に拮抗する小資本の、最後の慘憺たる悲哀を見ないがせめてものかも分らない見よ、巧なその政略を――日本のあらゆる學者を、博士を金で雇ひ、世界の書籍を、學問を、知識を金で掻き集めて大阪に、東京にまで○社會××研究所を設置し、次から次へと手に、足を伸ばして行く文明の假面をかぶつた毒牙を……

從妹婿に伴はれながら、S鐵道の踏切を南から北へ越えた瞬間、私は直覺せずにはゐられなかつた。しかし、私もまたその一大資本の中に、粟粒にも足りない身體を投げ込まうとしてゐるのではないか。いや、自分の粟粒にも足りない身體が自由に、その一大資本の中にでも投げ込まれ得らるゝならば現在の私はそれをしも幸ひとしなければならないのだ。私は昨夜、あの牛肉をつゝきながら飮んだ酒の醉ひが醒めると等しく、夜の明け方まで思ひ惱んだのはそれだ。やがて石炭をトロツコで運び込んでゐる門脇を、見張りの守衛に咎へて這入つて暫らく行くと右側に、煉瓦づくりの頑丈な建物がある。從妹婿は私を屋外へ待たして置いて、自分がひとりで入口の扉を押した。

私はぼんやり待ちあぐみながら、そこらあたりを往つたり來たりした。そして、四方に眼を放ちながら、中國のこの小さい田舍町に、かくも大きな工場の建物が降つて沸いたかの如く、いつの間にか出來たことを今更ながら訝つた。鈍い午前の光線は、石炭殼とコークスによつて凸凹と埋められたトロツコの軌道を幾筋となく敷いた廣場を、隈なく照らした。はるか背後の方からは幾多の男女工を採つてゐるであらう、精妙な機械がゴー〲と響き渡つて來た。天柱の如き二本の太い煉瓦の煙突からは、黑煙がムク〲と渦まき上つた。しかしそれは私が曾て東京に、大阪に頭の髓の底に滲み込まされたそれではなかつたか。やがて從妹婿は、腑に落ちなさうな顏をして出て來た。

――健さん、あんたは履歴書を持つて居られるでせうな？　戸籍謄本や身元證明書も要るんぢやさうなが、とにかく人事課長さんがお會ひして見たいからと仰しやられるので……

――あ、さうでせう。履歴書なら持つて居ります。それから健康診斷書も必要とか聞いたので、實は昨日こしらへて貰つて來てゐるので。

――さうでしたか、それや宜しかつた。

私は扉を押した、そして一段高い、板の間へ上ると、從妹婿は紹介した。私はすぐ眼の前の事務机に就き、何事か記入してゐる、丸刈頭の背のひよろ高い、黑つぽい詰襟服を被た男を見て丁寧に會釋した。

――僕が人事課の橋浦留三郎です、どうぞ宜しく。

橋浦は椅子から立ち上ると、機械的に自己紹介をして、そのまゝ腰を下し、前に差し出した履歴書を、手早く披げて眼を通した。そして途中ちらり、私の顏や姿に視線をくれると、やゝ暫らく小首を傾げながら考へ込んだ。

――田中健吉さんと仰しやるのですか、失禮ですがこの履歴書に間違ひはありませんかね？

――些かも間違ひはありません。

はツとしながらも、私はきつぱり答へた。そしてぢつと、机の上に置かれた履歴書と、人事課長の顏を訝しげに見較べた。まつたく、履歴書に間違ひはなかつた。とはいへ雇主をいつかは不利に陷れるやうな辭句を、誰が履歴書に用ふる者があらうぞ、しかし、人事課長の一言は？

――田中さん、あなたは考へをお改めになつては如何です？

――と仰しやると？

――いや、それはあなたが胸に押し隱してゐられるお考へを撤回なさいといふのではありません、たゞそれを爆發さす場所をお選びなさいといふのです。こゝでは到底それは駄目です。

橋浦のアクセントには、命令的な威嚴があつた。私は彼の、鋭い眼識を驚歎せずにはゐられなかつた。けれども現在の私として、老ひた母を思ふほか勞働運動も、何々ズムもない私としてひるんではゐられなかつた。こゝまで暴れたからには？ 私は自分の切ない衷情を愬へずにはゐられなかつた、人事課長の前にひれ伏し、淚とゝもに縋りつくかのやう。しかしこの勞働者の代表は、自分の理知の限の分らない限りはといつたやうに、頑として聞き入れてはくれなかつたのである。

――田中さん、あなたのお働きになるやうな、いや、活躍なさるやうな工場は大阪まで行けば幾らもあります。さうなさい、それがあなたのおためであり、勞働者の解放のためでもあるのです。さうです、そのためになまじ小事にこだはつてゐるべきではない、感情に制せられてゐる場合ではないのです。

――さうですか、ぢや、別れてお願ひしますまい。だがたつた一言……

私はぶる／＼身震ひしながら、一足前に踏み出すときツと橋浦の顏に瞳を据へ、

――橋浦さん、あなたが縣の勞働者を代表なさつたとか、それや事實なんですか?!

――それが事實であらうとなからうと、今日の場合なんの必要があつてお訊きになるのです？ 僕は自分の仕事に忙しいんです、また後刻にでもして下さい。

人事課長は忙しさう、ペンを手に机の眞正面に向いた。私はそのまゝ引き下る譯には行かなかつた、やゝ屈み込むかのやう、聲に力を籠めて、

――橋浦さん、あなたにはわれ／＼勞働者の感情が、虐げられた者の氣持がお分りになりますか？ あなたが縣の勞働者を代表しやうと、どんな大きな勞働組合をつくつてその指導者にならうと、また普選實施によつて無產政黨から選出されやうとかつてゞす。だが宣言して置きます、われ／＼勞働者は、虐げられた者はあなたらによつて何物を克ち得ないことを、しかし惡く踏み躪にしやうとしてゐると、いつかは報へることがありますぞ！

といひ放つた。何が何か分らないかのやう、ほかんと眺めてゐた從妹婿はたゞならぬやうすにはじめて氣づいたらしい。そして、なほも喋らうとしてゐる私の袖を控へ、

進め社本部取次書目　（壹部壹圓）

解放の藝術　青野季吉
◇氏の一評は文壇の一波、故に曰、青野の論季吉の氣、評界又大地震と

幽靈讀者
◇勞農藝術論の先才山田清三郎氏の著也、プロ文學の典型暴露小說の開山、鳴海氏の評羅と大新聞褒面

幸德名文集
◇文豪秋水幸德の名文は世既に定評あり後世評して教科書中の教科書脳氏文學の精萃盛氏必携大寶典と稱する誠に故ある也、別に宣傳用特半額版も發行す

秋水書簡集
◇本書は資の業反動大家泣て曰『志士の決心同志の友情われ讀むに堪えたり孝子の純眞烈婦の愛情われ遂に泣くに堪えず』と、宣傳用特半額版ある所以か、

新消費組合論
◇斯界權威の博士教授學者實際家共同執筆組合長新消費格責任特輯、既に久しく絕版、但普及宣傳半額版あり

地震憲兵火事巡査
へ蓋『久さん未遂で無期懲役、甘粕三たりで假出獄』也

社會運動史　世界
◇石川三四郎曰『描著定價六圓の西洋社會運動史千餘頁を簡潔に脈絡した良書の標本版價の見本だ』

ユートピア集
◇幾度か企てられ幾度か中止せる難業を著者守田有秋氏の努力が今や之を完成した（1思想2古代及中世3近世4日本5比較の五篇廿章

社會運動史　同日本　陽之助著
◇興味中心文章本位の日本社會運動史論1徐發2展3活動4闘爭5反動6分裂六篇六時代。波瀾重疊の事件と人物が躍動す

製絲女工虐待實史　佐倉啄二
◇×者『製絲工女は昔細井氏女工哀史の紡績工女を羨んでます』
◇藤森氏『咄！、巧妙の搾取戰慄の暴虐女工哀史以上の虐待史』
◇山崎伯爵『代も蛋蛹を食べて製絲場で働いた。此事實は全く本當た』

勞働運動史　近藤榮藏著　近露國
◇著者は勞働運動史の權威、曩に曉民共產黨事件で保釋中日本共產黨事件で入露亡命、專ら露國勞働運動史を研究滿九年の蘊蓄を傾けたる此の一卷九章三百頁、蓋し天下の渴を醫するものあらん乎

彼等甦らば　小川未明社會小說集
◇著者は明治大正昭和を通じて最も特異な地位を占むる作家文壇生活二十有余年、純眞熱情は卿るかの登りも見せぬ。本書收むる處の十有七篇、皆之れ氏最近の雄篇傑作、讀者に迫る臨を許さん哉。

武左衛門一揆　中西伊之助著長篇戲曲
◇著者曰、武左衛門は佐倉宗吾の様な所謂義民の類でない。彼は近代農民運動の先驅者革命家であつた。本書全篇十有五景は彼れの進出よりギロチン迄の梗概。僕は自負する。之れは僕空前絕後の會心の作た。

社會思想解說　山內房吉新著
◇無產階級的智識の武器を求める無產階級必備の大寶典！古今東西各段階に於ける各種社會思想の精密なる大辭典！各種社會主義、社會主義者、社會主義術語々々の大字引！內容の精確正確、文章の流達平易！

金・銀・白金

徳力本店

東京神田松田町

電神 25 { 216. 235 221. 976 450.

梅笑ふ頃を三越へ

今春の流行品や實用品を澤山に取揃

此所彼所の梅の花も香床しく咲き初める頃となりました。三越では益々店内の充實をはかり、今春の流行を代表する呉服、太物、帯側類を初めとし、斬新輕快なる春向の洋服帽子、ネクタイ、靴等を豐富に取揃へ陳列致して居りますまた當店の年中行事の一つであります優美な雛人形の陳列會も開催致します。何卒御用命の程偏に御願ひ申上げます

東京市 三越呉服店 駿河町

婦人良薬 喜谷實母散

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舗 東京京橋區中橋大鋸町 喜谷市郎右衛門 電話京橋五五番 五六番

無産大衆の戰闘的政治新聞

週刊 日本勞農新聞

讀め！眞の無産政治新聞を！

定價 一部 五錢 一ケ年 一圓五十錢

日本勞農新聞社

東京芝公園五號地 振替東京四六六四九番

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和三年二月一日發行
同年一月廿八日印刷納本
第六年第二號
毎月一回一日發行
定價一部十錢（稅五厘）半年六十錢一年一圓（稅共）
廣告料一行一圓 一頁三百圓
發行所 東京市麴町區內幸町一丁目五番地（振替東京六九八五三）進め社本部
發行編輯兼印刷人 神庭伸之助 大阪市東淀川區十三西之町一三一 大阪事務所